

参考資料1

アンケート調査結果

(消費者・故繊維事業者)

アンケート調査結果 目次

I 消費者アンケート	1
1. 調査方法	1
2. 調査結果	1
2-1 回答者属性	1
2-2 衣料品の処理実態	2
1) 不要になった衣料品の処理方法割合	2
2) 処理方法別衣料品量	3
① 本調査の推計方法	3
② 本調査の推計結果概要	5
3) 処理方法別推計結果の詳細	6
① 集団回収	6
② 自治体回収の資源ごみ	6
③ 可燃ごみ・不燃ごみ等	7
④ 親類・友人等への譲渡	7
⑤ 衣料品販売店による下取り	8
⑥ リサイクルショップや古着屋に販売	8
⑦ バザーや慈善活動に寄付	9
⑧ フリーマーケットで販売	9
⑨ ネットオークションで販売	10
2-3 衣料品のリペア実態	11
2-4 衣料品の購入実態	12
1) リサイクルショップや古着屋での衣料品購入実態	12
2) バザーでの中古衣料品購入実態	13
3) フリーマーケットでの中古衣料品購入実態	13
4) ネットオークションでの中古衣料品購入実態	14
2-5 家庭用品の処理実態	15
1) 家庭用品別処分量	15
2) 家庭用品別処分量の詳細	16
① 羽毛ふとん	16
② ふとん(羽毛ふとん以外)	16
③ こたつふとん	17
④ シーツ、枕カバー	17
⑤ 毛布	18
⑥ 薄手のカーテン	18
⑦ 厚手のカーテン	19
⑧ 小ぶりのタオル(スポーツタオル、フェイルタオル等)	19

⑨ 大判タオル(バスタオル、タオルケット等)	20
⑩ 小ぶりのマット類(キッチンマット、バスマット等)	20
⑪ カーペット・じゅうたん、大判ラグ	21
II ボロ選別業者アンケート.....	22
1. 調査方法	22
2. 調査結果	22
2-1 回答企業の概要	22
1) 所在地	22
2) 売上高規模	23
3) 業務内容	23
2-2 故繊維回収量及び増減傾向	24
1) 2008 年度の回収量	24
2) 2005 年度からの増減傾向	24
① ボロ	24
② 屑繊維	25
③ 合計	25
3) 2009 年度の増減予測	26
① ボロ	26
② 屑繊維	26
③ 全体	27
2-3 故繊維の回収方法	27
1) ボロ(家庭からの排出物)	27
① 2008 年度の回収方法	27
② 2005 年度からのシェア増減傾向	28
2) 屑繊維(事業者からの排出物)	29
① 2008 年度の回収方法	29
② 2005 年度からのシェア増減傾向	29
2-4 故繊維回収後の販売・処分先	30
1) ボロ(家庭からの排出物)	30
① 2008 年度の販売・処分先	30
② 2005 年度からのシェア増減傾向	30
2) 屑繊維(事業者からの排出物)	31
① 2008 年度の販売・処分先	31
② 2005 年度からのシェア増減傾向	31
2-5 事業を行う上での課題、故繊維製品の回収・再利用に関する意見抜粋	32
1) 原材料確保	32
2) 不能品削減・処理	32

3) 出口整備・拡大	33
4) その他.....	33

I 消費者アンケート

1. 調査方法

ヤフーバリューインサイト株式会社のインターネットリサーチサービスを利用し、家庭における繊維製品(衣料品/家庭用品)の処理実態に関するアンケートを実施した。

調査対象条件は、

- ・ 日本在住の18歳以上男女(高校生以外)
- ・ 世帯における衣料品の処理方法(廃棄・リサイクル・リペア)を把握している

として、世帯単位での情報取得を行った。

回収目標数は2000人(2000世帯)とし、実査期間はスクリーニングを含め、2009年12月23日(水・祝)～26日(土)の計4日間。

2. 調査結果

2-1 回答者属性

2005年国勢調査の世帯構成に合わせた形で、2000世帯の回答を得た。

回答者(世帯)の世帯構成

(s)

	世帯人員 が1人	世帯人員 が2人	世帯人員 が3人	世帯人員 が4人	世帯人員 が5人	世帯人員 が6人以上	合計
三大都市圏(※1)	330	273	195	167	54	27	1046
その他地域	259	258	180	147	62	48	954
合計	589	531	375	314	116	75	2000

国勢調査 2005年の世帯構成

	世帯人員 が1人	世帯人員 が2人	世帯人員 が3人	世帯人員 が4人	世帯人員 が5人	世帯人員 が6人以上	合計
三大都市圏(※1)	16.5%	13.6%	9.7%	8.3%	2.7%	1.3%	52.2%
その他地域	13.0%	12.9%	9.0%	7.4%	3.1%	2.4%	47.8%
合計	29.5%	26.5%	18.7%	15.7%	5.8%	3.7%	100%

※1.三大都市圏

東京圏 : 東京都, 神奈川県, 埼玉県, 千葉県

名古屋圏 : 愛知県, 岐阜県, 三重県

大阪圏 : 大阪府, 兵庫県, 京都府, 奈良県

2-2 衣料品の処理実態

1) 不要になった衣料品の処理方法割合

過去1年間に世帯全体でどのように衣料品を処理したかについて尋ねた結果を以下に示す。処理方法別の回答者数(世帯数)割合をみると、「可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄」が68%と最も高い。次いで「自治体回収の資源ごみとして廃棄」の34%、「親類・友人等に譲渡(新品プレゼントを除く)」の29%と続く。

平成18年度調査(※1)の参考値では、「可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄」「自治体回収の資源ごみとして廃棄」「親類・友人等に譲渡(新品プレゼント除く)」で順位は変わらないものの、「可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄」は77%で8割弱と高く、「リサイクルショップや古着に販売する」や「衣料品は1つも処分していない」等が低くなっている。

不要になった衣料品の処理方法割合

衣料品の処理方法	回答者数	割合	【参考】 平成18年 度調査の 割合 (※1)
古着・古布として地域の集団回収に提供する	454	22.7%	23.6%
自治体回収の資源ごみとして廃棄する	676	33.8%	34.9%
可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する	1351	67.6%	77.2%
親類・友人等に譲渡する(新品のプレゼントは除く)	571	28.6%	32.4%
衣料品販売店に下取り(新しい商品の購入等を条件に古い商品を提供)で販売する	198	9.9%	4.8%
リサイクルショップや古着屋に販売する	430	21.5%	14.4%
バザーや慈善活動に寄付する	154	7.7%	9.5%
フリーマーケットで販売する	113	5.7%	
ネットオークションで販売する	213	10.7%	7.6%
衣料品は一つも処分していない	353	17.7%	6.5%

※1.「平成18年度情報業務 繊維製品リサイクルの現状調査」(独立行政法人中小企業基盤整備機構、平成19年2月)(以降、平成18年度調査)の調査結果。ただし、標本抽出といった基本設計や質問項目、ワーディング、推計方法も異なるため、比較はできない。参考値として掲載。

※2. 複数回答のため、各処理方法別割合の合計は100%にならない。

2) 処理方法別衣料品量

① 本調査の推計方法

消費者アンケートでは、衣料品の種類ごとに、処理方法別の処分数まで尋ねている。その結果を用いて、一世帯当たりの各処理方法ごとの処分数を算出。その後、2005年国勢調査の一般世帯数を掛け合わせ、全国の処分数推計値とした。最終的に、処分数推計値に一枚当たりの重量を掛けたものが、全国の処分量推計値となる。

本調査の推計手順

各品目(衣料品種類)で、処理方法ごとに下記1~3を実施

1. 標本調査における一世帯当たりの枚数を算出

標本調査における 回答枚数 (処理枚数)合計	÷	標本調査の 世帯数	→	一世帯当たりの 処理枚数推計値
例) 775枚 (衣料品Aの処理方法Bに おける処理枚数計)		2000世帯	=	0.39枚



2. 全国推計値(枚数)を算出

一世帯当たりの 処理枚数推計	*	全国の世帯数	→	全国の処理枚数 推計値
例) 0.39枚		49,062,530世帯 (国勢調査2005より 全国総世帯数)	=	19,134,387枚



3. 全国推計値(重量)を算出

全国の処理枚数 推計値	*	一枚当たりの 重量	→	全国の処理量 推計値
例) 19,134,387枚		1.0kg	=	19,134,387kg

(参考) 平成 18 年度調査の推計方法

本調査は世帯ベースでの推計だが、平成 18 年度調査は個人ベース(男女別)でのデータ取得、推計を実施している。平成 18 年度の消費者アンケートでは、回答者に、「過去 1 年間の衣料品処理を把握している男性の人数」「過去 1 年間の衣料品処理を把握している女性の人数」「過去 1 年間の衣料品処理を把握している小学生以下の子供の人数」を聞き、属性ごとに、各衣料品の処理方法別処分枚数を尋ねている。

そのアンケート結果を用いて、各属性における一人当たりの処理方法別処分枚数を算出。その後、その一人当たりの枚数に人口数(人口推計年報)を掛け合わせ、全国の処分枚数推計値とした。最終的に、全国の処分枚数推計値に一枚当たりの重量(重量も属性で異なる)を掛けたものが、全国の処分量推計値となる。

平成 18 年度調査の推計手順

男性、女性、小学生以下の子供それぞれにおいて 各品目(衣料品種類)で、処理方法ごとに下記1~3を実施

1. 標本調査における1人当たりの枚数を算出

標本調査における 属性別回答枚数 (処理枚数)合計	／	標本調査の 属性別標本数	→	各属性 1人当たりの 処理枚数推計値
例) 男性: 222枚	÷	2,378人	=	0.09枚
女性: 160枚	÷	2,645人	=	0.06枚
<small>(衣料品Aの処理方法Bにおける処理枚数計)</small>				



2. 全国推計値(枚数)を算出

各属性 1人当たりの 処理枚数推計値	*	全国の 各属性人口総数	→	全国の 属性別処理枚数 推計値
例) 男性: 0.09枚	×	54,464,000人	=	4,901,760枚
女性: 0.06枚	×	57,942,000人	=	3,476,520枚
<small>(人口推計年報より 属性別全国人口総数)</small>				



3. 全国推計値(重量)を算出

全国の 各属性処理枚数 推計値	*	各属性 一枚当たりの 重量	→	全国の 属性別処理量 推計値
例) 男性: 4,901,760枚	×	0.97kg	=	4,754,707kg
女性: 3,476,520枚	×	0.96kg	=	3,337,459kg

② 本調査の推計結果概要

全国では、過去1年間に約17億枚、重量にすると約64万tの衣料品が処理されていると推計された。処理方法別にみると、最もボリュームがあるのが「可燃ごみ・不燃ごみとして廃棄」の約20万t、続いて「自治体回収の資源ごみとして廃棄」の約12万t。3番目は「リサイクルショップや古着屋に販売する」の約9万tだったが、平成18年度調査の参考値では「古着・古布として地域の集団回収に提供」であった。

衣料品処理量推計結果(全国値)

衣料品の処理方法	全国推計値 (千枚)	全国推計値 (t)	全国推計値(t)の比率 (各処理方法÷合計)	【参考】 平成18年度調査(※1)	
				全国推計値 (千枚)	全国推計値 (t)
古着・古布として地域の集団回収に提供する	193,981	74,691	11.7%	149,742	64,192
自治体回収の資源ごみとして廃棄する	308,088	116,610	18.2%	236,215	96,371
可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する	669,446	202,493	31.6%	693,117	232,370
親類・友人等に譲渡する(新品のプレゼントは除く)	183,101	66,357	10.4%	148,452	61,144
衣料品販売店に下取り(新しい商品の購入等を条件に古い商品を提供)で販売する	42,488	19,580	3.1%	14,677	7,831
リサイクルショップや古着屋に販売する	182,770	89,439	14.0%	67,234	32,758
バザーや慈善活動に寄付する	53,723	23,102	3.6%	51,114	23,331
フリーマーケットで販売する	45,469	19,312	3.0%		
ネットオークションで販売する	64,358	29,166	4.6%	37,608	17,190
合計	1,743,425	640,751	100.0%	1,398,160	535,186

※1. 平成18年度調査の結果。ただし、標本抽出といった基本設計や質問項目、ワーディング、推計方法も異なるため、比較はできない。参考値として掲載。

3) 処理方法別推計結果の詳細

① 集団回収

過去1年間における“地域の集団回収”への衣料品提供枚数を尋ねた結果を以下に示す。衣料品種類ごとに得た回答から推計したところ全国の集団回収への衣料品提供重量は約 74,700t となった。

標本抽出や推計方法が異なるため純粋な比較はできないが、平成 18 年度調査における推計値は 64,192t となっている。

集団回収への衣料品種類別提供量、及び全国推計値

衣料品種類		標本調査の回答枚数計	一世帯当たりの枚数	全国推計値(千枚)	一枚当たりの重量(kg/枚)	全国推計値(t)	全国推計値(t)の比率(各処理方法÷合計)
【中学生以上の方の衣服】	①厚手のコート、和服	775	0.39	19,012	1.03	19,582	26.2%
	②薄手のコート、ブルゾン	494	0.25	12,118	0.64	7,756	10.4%
	③ワンピース	271	0.14	6,648	0.63	4,188	5.6%
	④ジャケット、ブレザー、背広(上着)	512	0.26	12,548	0.52	6,525	8.7%
	⑤ワイシャツ・ブラウス	943	0.47	23,133	0.25	5,783	7.7%
	⑥セーター、トレーナー、ジャージ(上着)類	1,018	0.51	24,961	0.37	9,235	12.4%
	⑦Tシャツ類	1,328	0.66	32,565	0.20	6,513	8.7%
	⑧ジーンズ素材のパンツ、スカート	392	0.20	9,604	0.39	3,746	5.0%
	⑨その他素材のパンツ・スカート、スラックス	410	0.20	10,046	0.39	3,918	5.2%
	⑩下着類(肌着・靴下など)	676	0.34	16,583	0.10	1,658	2.2%
	⑪小物類(マフラー、ハンカチなど)	203	0.10	4,968	0.06	298	0.4%
【小学生以下の方の衣服】	⑫子供服(下着含む)	675	0.34	16,546	0.30	4,964	6.6%
	⑬乳児衣服(おむつ以外の下着含む)	214	0.11	5,250	0.10	525	0.7%
合計		7,908	3.95	193,981	-	74,691	100%

※一枚当たりの重量は「衣料品用繊維消費量調査(内需用)報告書、1999 年実績」(日本化学繊維協会、2000 年)から算出し、仮定している。

② 自治体回収の資源ごみ

過去1年間における“自治体回収の資源ごみ”への衣料品提供枚数を尋ねた結果を以下に示す。集団回収同様に算出したところ、全国の自治体回収の資源ごみへの衣料品提供重量は約 116,600t と推計された。

標本抽出や推計方法が異なるため純粋な比較はできないが、平成 18 年度調査における推計値は 96,371t だった。

自治体回収の資源ごみとしての衣料品種類別提供量、及び全国推計値

衣料品種類		標本調査の回答枚数計	一世帯当たりの枚数	全国推計値(千枚)	一枚当たりの重量(kg/枚)	全国推計値(t)	全国推計値(t)の比率(各処理方法÷合計)
【中学生以上の方の衣服】	①厚手のコート、和服	1,255	0.63	30,787	1.03	31,710	27.2%
	②薄手のコート、ブルゾン	776	0.39	19,024	0.64	12,175	10.4%
	③ワンピース	512	0.26	12,560	0.63	7,913	6.8%
	④ジャケット、ブレザー、背広(上着)	854	0.43	20,950	0.52	10,894	9.3%
	⑤ワイシャツ・ブラウス	1,296	0.65	31,780	0.25	7,945	6.8%
	⑥セーター、トレーナー、ジャージ(上着)類	1,470	0.73	36,049	0.37	13,338	11.4%
	⑦Tシャツ類	2,017	1.01	49,467	0.20	9,893	8.5%
	⑧ジーンズ素材のパンツ、スカート	470	0.23	11,517	0.39	4,492	3.9%
	⑨その他素材のパンツ・スカート、スラックス	772	0.39	18,938	0.39	7,386	6.3%
	⑩下着類(肌着・靴下など)	1,544	0.77	37,876	0.10	3,788	3.2%
	⑪小物類(マフラー、ハンカチなど)	370	0.19	9,077	0.06	545	0.5%
【小学生以下の方の衣服】	⑫子供服(下着含む)	719	0.36	17,626	0.30	5,288	4.5%
	⑬乳児衣服(おむつ以外の下着含む)	507	0.25	12,437	0.10	1,244	1.1%
合計		12,559	6.28	308,088	-	116,610	100%

③ 可燃ごみ・不燃ごみ等

過去1年間における“可燃ごみ・不燃ごみ等”としての衣料品廃棄枚数を尋ねた結果を以下に示す。衣料品種類ごとに得た回答から推計したところ、全国の可燃ごみ・不燃ごみとして廃棄された衣料品重量は約 202,500t となり、平成 18 年度調査同様、過少推計となっている可能性が高い。

純粋な比較はできないが、平成 18 年度調査における推計値は 232,370t となっている。

可燃ごみ・不燃ごみとしての衣料品種類別廃棄量、及び全国推計値

衣料品種類		標本調査の回答枚数計	一世帯当たりの枚数	全国推計値(千枚)	一枚当たりの重量(kg/枚)	全国推計値(t)	全国推計値(t)の比率(各処理方法÷合計)
【中学生以上の方の衣服】	①厚手のコート、和服	1,888	0.94	46,303	1.03	47,692	23.6%
	②薄手のコート、ブルゾン	1,161	0.58	28,481	0.64	18,228	9.0%
	③ワンピース	782	0.39	19,171	0.63	12,078	6.0%
	④ジャケット、ブレザー、背広(上着)	1,198	0.60	29,376	0.52	15,276	7.5%
	⑤ワイシャツ・ブラウス	2,399	1.20	58,838	0.25	14,710	7.3%
	⑥セーター、トレーナー、ジャージ(上着)類	2,428	1.21	59,550	0.37	22,033	10.9%
	⑦Tシャツ類	4,344	2.17	106,564	0.20	21,313	10.5%
	⑧ジーンズ素材のパンツ、スカート	707	0.35	17,331	0.39	6,759	3.3%
	⑨その他素材のパンツ・スカート、スラックス	1,042	0.52	25,549	0.39	9,964	4.9%
	⑩下着類(肌着・靴下など)	7,569	3.78	185,677	0.10	18,568	9.2%
	⑪小物類(マフラー、ハンカチなど)	1,244	0.62	30,517	0.06	1,831	0.9%
【小学生以下の方の衣服】	⑫子供服(下着含む)	1,597	0.80	39,164	0.30	11,749	5.8%
	⑬乳児衣服(おむつ以外の下着含む)	935	0.47	22,924	0.10	2,292	1.1%
合計		27,290	13.64	669,446	-	202,493	100%

④ 親類・友人等への譲渡

過去1年間における“親類・友人等へ譲渡(新品プレゼント除く)”された衣料品枚数を尋ねた結果を以下に示す。衣料品種類ごとに得た回答から推計したところ、全国の譲渡された衣料品重量は約 66,400t となった。

標本抽出や推計方法が異なるため純粋な比較はできないが、「平成 13 年度繊維産業活性化対策調査(アジア繊維産業戦略連携推進事業(消費流通実態調査分))報告書」(株式会社三菱総合研究所、平成 14 年 3 月)(以降、平成 13 年度調査)における推計値は 65,787t、平成 18 年度調査における推計値は 61,144t で、ほぼ変わらない。

親類・友人等への衣料品種類別譲渡量、及び全国推計値

衣料品種類		標本調査の回答枚数計	一世帯当たりの枚数	全国推計値(千枚)	一枚当たりの重量(kg/枚)	全国推計値(t)	全国推計値(t)の比率(各処理方法÷合計)
【中学生以上の方の衣服】	①厚手のコート、和服	583	0.29	14,289	1.03	14,718	22.2%
	②薄手のコート、ブルゾン	462	0.23	11,321	0.64	7,246	10.9%
	③ワンピース	256	0.13	6,268	0.63	3,949	6.0%
	④ジャケット、ブレザー、背広(上着)	441	0.22	10,806	0.52	5,619	8.5%
	⑤ワイシャツ・ブラウス	486	0.24	11,922	0.25	2,981	4.5%
	⑥セーター、トレーナー、ジャージ(上着)類	576	0.29	14,130	0.37	5,228	7.9%
	⑦Tシャツ類	703	0.35	17,245	0.20	3,449	5.2%
	⑧ジーンズ素材のパンツ、スカート	216	0.11	5,286	0.39	2,062	3.1%
	⑨その他素材のパンツ・スカート、スラックス	311	0.16	7,629	0.39	2,975	4.5%
	⑩下着類(肌着・靴下など)	201	0.10	4,931	0.10	493	0.7%
	⑪小物類(マフラー、ハンカチなど)	82	0.04	2,012	0.06	121	0.2%
【小学生以下の方の衣服】	⑫子供服(下着含む)	1,996	1.00	48,952	0.30	14,686	22.1%
	⑬乳児衣服(おむつ以外の下着含む)	1,154	0.58	28,309	0.10	2,831	4.3%
合計		7,464	3.73	183,101	-	66,357	100%

⑤ 衣料品販売店による下取り

過去1年間“衣料品販売店へ下取り”に出した衣料品枚数を尋ねた結果を以下に示す。衣料品種類ごとに得た回答から算出したところ全国の衣料品販売店による下取り量は約 19,600t と推計された。

標本抽出や推計方法が異なるため純粋な比較はできないが、平成 13 年度調査における推計値は 5,539t、平成 18 年度調査における推計値は 7,831t と 10,000t 以下で、増加傾向が伺える。

衣料品販売店による衣料品種類別下取り量、及び全国推計値

衣料品種類		標本調査の回答枚数計	一世帯当たりの枚数	全国推計値(千枚)	一枚当たりの重量(kg/枚)	全国推計値(t)	全国推計値(t)の比率(各処理方法÷合計)
【中学生以上の方の衣服】	①厚手のコート、和服	245	0.12	6,010	1.03	6,190	31.6%
	②薄手のコート、ブルゾン	175	0.09	4,293	0.64	2,748	14.0%
	③ワンピース	100	0.05	2,441	0.63	1,538	7.9%
	④ジャケット、ブレザー、背広(上着)	207	0.10	5,078	0.52	2,641	13.5%
	⑤ワイシャツ・ブラウス	101	0.05	2,465	0.25	616	3.1%
	⑥セーター、トレーナー、ジャージ(上着)類	181	0.09	4,428	0.37	1,638	8.4%
	⑦Tシャツ類	200	0.10	4,894	0.20	979	5.0%
	⑧ジーンズ素材のパンツ、スカート	87	0.04	2,122	0.39	828	4.2%
	⑨その他素材のパンツ・スカート、スラックス	98	0.05	2,404	0.39	938	4.8%
	⑩下着類(肌着・靴下など)	120	0.06	2,944	0.10	294	1.5%
	⑪小物類(マフラー、ハンカチなど)	21	0.01	503	0.06	30	0.2%
【小学生以下の方の衣服】	⑫子供服(下着含む)	133	0.07	3,250	0.30	975	5.0%
	⑬乳児衣服(おむつ以外の下着含む)	68	0.03	1,656	0.10	166	0.8%
合計		1,732	0.87	42,488	-	19,580	100%

⑥ リサイクルショップや古着屋に販売

過去1年間における“リサイクルショップ・古着屋”に販売した衣料品枚数を尋ねた結果を以下に示す。衣料品種類ごとに得た回答から算出したところ、全国のリサイクルショップ・古着屋への衣料品販売量は約 89,400t という推計値となった。

標本抽出や推計方法が異なるため純粋な比較はできないが、平成 18 年度調査における推計値は 32,758t だったため、増加傾向が伺える。

リサイクルショップ・古着屋への衣料品種類別販売量、及び全国推計値

衣料品種類		標本調査の回答枚数計	一世帯当たりの枚数	全国推計値(千枚)	一枚当たりの重量(kg/枚)	全国推計値(t)	全国推計値(t)の比率(各処理方法÷合計)
【中学生以上の方の衣服】	①厚手のコート、和服	1,331	0.67	32,639	1.03	33,618	37.6%
	②薄手のコート、ブルゾン	764	0.38	18,730	0.64	11,987	13.4%
	③ワンピース	479	0.24	11,738	0.63	7,395	8.3%
	④ジャケット、ブレザー、背広(上着)	492	0.25	12,069	0.52	6,276	7.0%
	⑤ワイシャツ・ブラウス	549	0.27	13,468	0.25	3,367	3.8%
	⑥セーター、トレーナー、ジャージ(上着)類	909	0.45	22,287	0.37	8,246	9.2%
	⑦Tシャツ類	879	0.44	21,563	0.20	4,313	4.8%
	⑧ジーンズ素材のパンツ、スカート	398	0.20	9,751	0.39	3,803	4.3%
	⑨その他素材のパンツ・スカート、スラックス	461	0.23	11,297	0.39	4,406	4.9%
	⑩下着類(肌着・靴下など)	121	0.06	2,956	0.10	296	0.3%
	⑪小物類(マフラー、ハンカチなど)	140	0.07	3,422	0.06	205	0.2%
【小学生以下の方の衣服】	⑫子供服(下着含む)	661	0.33	16,215	0.30	4,865	5.4%
	⑬乳児衣服(おむつ以外の下着含む)	271	0.14	6,636	0.10	664	0.7%
合計		7,451	3.73	182,770	-	89,439	100%

⑦ バザーや慈善活動に寄付

過去1年間における“バザー・慈善活動”に寄付した衣料品枚数を尋ねた結果を以下に示す。衣料品種類ごとに得た回答から推計したところ、全国のパザーや慈善活動への衣料品寄付量は約 23,100t となった。

バザー・慈善活動への衣料品種類別販売量、及び全国推計値

衣料品種類		標本調査の回答枚数計	一世帯当たりの枚数	全国推計値(千枚)	一枚当たりの重量(kg/枚)	全国推計値(t)	全国推計値(t)の比率(各処理方法÷合計)
【中学生以上の方の衣服】	①厚手のコート、和服	241	0.12	5,900	1.03	6,077	26.3%
	②薄手のコート、ブルゾン	224	0.11	5,483	0.64	3,509	15.2%
	③ワンピース	115	0.06	2,821	0.63	1,777	7.7%
	④ジャケット、ブレザー、背広(上着)	156	0.08	3,827	0.52	1,990	8.6%
	⑤ワイシャツ・ブラウス	177	0.09	4,342	0.25	1,086	4.7%
	⑥セーター、トレーナー、ジャージ(上着)類	314	0.16	7,703	0.37	2,850	12.3%
	⑦Tシャツ類	371	0.19	9,089	0.20	1,818	7.9%
	⑧ジーンズ素材のパンツ、スカート	78	0.04	1,913	0.39	746	3.2%
	⑨その他素材のパンツ・スカート、スラックス	142	0.07	3,483	0.39	1,359	5.9%
	⑩下着類(肌着・靴下など)	56	0.03	1,374	0.10	137	0.6%
	⑪小物類(マフラー、ハンカチなど)	49	0.02	1,202	0.06	72	0.3%
【小学生以下の方の衣服】	⑫子供服(下着含む)	209	0.10	5,115	0.30	1,534	6.6%
	⑬乳児衣服(おむつ以外の下着含む)	60	0.03	1,472	0.10	147	0.6%
合計		2,190	1.10	53,723	-	23,102	100%

⑧ フリーマーケットで販売

過去1年間における“フリーマーケット”で販売した衣料品枚数を尋ねた結果を以下に示す。全国のフリーマーケットでの衣料品販売量の推計値は約 19,300t となった。⑦のパザー・慈善活動への寄付と合わせると約 42,400t になる。

標本抽出や推計方法が異なるため純粋な比較はできないが、平成 18 年度調査における推計値は、バザーとフリーマーケットへの提供が 23,331t だったため、増加の傾向が見られる。

フリーマーケットへの衣料品種類別販売量、及び全国推計値

衣料品種類		標本調査の回答枚数計	一世帯当たりの枚数	全国推計値(千枚)	一枚当たりの重量(kg/枚)	全国推計値(t)	全国推計値(t)の比率(各処理方法÷合計)
【中学生以上の方の衣服】	①厚手のコート、和服	278	0.14	6,820	1.03	7,024	36.4%
	②薄手のコート、ブルゾン	81	0.04	1,987	0.64	1,272	6.6%
	③ワンピース	86	0.04	2,110	0.63	1,329	6.9%
	④ジャケット、ブレザー、背広(上着)	97	0.05	2,367	0.52	1,231	6.4%
	⑤ワイシャツ・ブラウス	89	0.04	2,171	0.25	543	2.8%
	⑥セーター、トレーナー、ジャージ(上着)類	210	0.10	5,139	0.37	1,902	9.8%
	⑦Tシャツ類	301	0.15	7,372	0.20	1,474	7.6%
	⑧ジーンズ素材のパンツ、スカート	97	0.05	2,380	0.39	928	4.8%
	⑨その他素材のパンツ・スカート、スラックス	136	0.07	3,324	0.39	1,296	6.7%
	⑩下着類(肌着・靴下など)	33	0.02	810	0.10	81	0.4%
	⑪小物類(マフラー、ハンカチなど)	73	0.04	1,791	0.06	107	0.6%
【小学生以下の方の衣服】	⑫子供服(下着含む)	246	0.12	6,022	0.30	1,807	9.4%
	⑬乳児衣服(おむつ以外の下着含む)	130	0.06	3,177	0.10	318	1.6%
合計		1,854	0.93	45,469	-	19,312	100%

⑨ ネットオークションで販売

過去1年間における“ネットオークション”で販売した衣料品枚数を尋ねた結果を以下に示す。衣料品種類ごとに得た回答から推計したところ、全国のネットオークションでの衣料品販売量は約 29,200t となった。

標本抽出や推計方法が異なるため純粋な比較はできないが、平成 18 年度調査における推計値は 17,190t のため、増加傾向が伺える。

ネットオークションでの衣料品種類別販売量、及び全国推計値

衣料品種類		標本調査の 回答枚数計	一世帯当た りの枚数	全国推計値 (千枚)	一枚当た りの重量 (kg/枚)	全国推計値 (t)	全国推計値(t) の比率 (各処理方法 ÷合計)
【中学生以上 の方の衣服】	①厚手のコート、和服	402	0.20	9,862	1.03	10,157	34.8%
	②薄手のコート、ブルゾン	214	0.11	5,250	0.64	3,360	11.5%
	③ワンピース	201	0.10	4,931	0.63	3,106	10.7%
	④ジャケット、ブレザー、背広(上着)	126	0.06	3,091	0.52	1,607	5.5%
	⑤ワイシャツ・ブラウス	151	0.08	3,704	0.25	926	3.2%
	⑥セーター、トレーナー、ジャージ(上着)類	269	0.13	6,587	0.37	2,437	8.4%
	⑦Tシャツ類	261	0.13	6,403	0.20	1,281	4.4%
	⑧ジーンズ素材のパンツ、スカート	128	0.06	3,140	0.39	1,225	4.2%
	⑨その他素材のパンツ・スカート、スラックス	166	0.08	4,072	0.39	1,588	5.4%
	⑩下着類(肌着・靴下など)	38	0.02	920	0.10	92	0.3%
	⑪小物類(マフラー、ハンカチなど)	100	0.05	2,441	0.06	146	0.5%
【小学生以下 の方の衣服】	⑫子供服(下着含む)	376	0.19	9,224	0.30	2,767	9.5%
	⑬乳児衣服(おむつ以外の下着含む)	193	0.10	4,735	0.10	473	1.6%
合計		2,624	1.31	64,358	-	29,166	100%

2-3 衣料品のリペア実態

過去1年間における衣料品のリペア枚数(業者利用問わず)を尋ねた結果を以下に示す。衣料品の処理量同様の方法で、衣料品種類ごとに推計をした結果、全国のリペア重量は約 25,100t となった。

平成 18 年度調査は標本抽出や推計方法が異なるため純粋な比較はできず、また「リペア(修繕・リメイク)業者を利用したリペア」と定義自体が異なる。平成 18 年度調査の推計値は 15,497t となっている。

衣料品種類別リペア量、及び全国推計値

衣料品種類		標本調査の 回答枚数計	一世帯当た りの枚数	全国推計値 (千枚)	一枚当た りの重量 (kg/枚)	全国推計値 (t)	全国推計値(t) の比率 (各処理方法 ÷合計)
【中学生以上 の方の衣服】	①厚手のコート、和服	169	0.08	4,134	1.03	4,258	17.0%
	②薄手のコート、ブルゾン	132	0.07	3,238	0.64	2,072	8.3%
	③ワンピース	117	0.06	2,858	0.63	1,800	7.2%
	④ジャケット、ブレザー、背広(上着)	187	0.09	4,587	0.52	2,385	9.5%
	⑤ワイシャツ・ブラウス	208	0.10	5,103	0.25	1,276	5.1%
	⑥セーター、トレーナー、ジャージ(上着)類	249	0.12	6,108	0.37	2,260	9.0%
	⑦Tシャツ類	187	0.09	4,587	0.20	917	3.7%
	⑧ジーンズ素材のパンツ、スカート	293	0.15	7,188	0.39	2,803	11.2%
	⑨その他素材のパンツ・スカート、スラックス	397	0.20	9,739	0.39	3,798	15.1%
	⑩下着類(肌着・靴下など)	351	0.18	8,610	0.10	861	3.4%
	⑪小物類(マフラー、ハンカチなど)	226	0.11	5,544	0.06	333	1.3%
【小学生以下 の方の衣服】	⑫子供服(下着含む)	283	0.14	6,942	0.30	2,083	8.3%
	⑬乳児衣服(おむつ以外の下着含む)	102	0.05	2,502	0.10	250	1.0%
合計		2,900	1.45	71,141	-	25,097	100%

2-4 衣料品の購入実態

1) リサイクルショップや古着屋での衣料品購入実態

過去1年間における“リサイクルショップ・古着屋”での衣料品購入枚数を尋ねた結果を以下に示す。衣料品の処理量同様の方法で、衣料品種類ごとに推計をした結果、全国のリサイクルショップ・古着屋での購入重量は約 23,400t となった。

標本抽出や推計方法が異なるため純粋な比較はできないが、平成 18 年度調査の推計値は 23,343t とほぼ同量である。

また、リサイクルショップ・古着屋への販売量(約 89,400t)と比較すると、約 3 割の値となっている。つまり、リサイクルショップ・古着屋へ販売された衣料品のうち、残り7割はボロ選別業者等へ引き渡されているものと考えられる。重量の推計値同様比較はできないが、平成 18 年度調査では約 3 割がボロ選別業者への引渡しと推測されていた。

リサイクルショップ・古着屋での衣料品種類別購入量、及び全国推計値

衣料品種類		標本調査の 回答枚数計	一世帯当た りの枚数	全国推計値 (千枚)	一枚当た りの重量 (kg/枚)	全国推計値 (t)	全国推計値(t) の比率 (各処理方法 ÷合計)
【中学生以上 の方の衣服】	①厚手のコート、和服	129	0.06	3,152	1.03	3,247	13.9%
	②薄手のコート、ブルゾン	105	0.05	2,564	0.64	1,641	7.0%
	③ワンピース	175	0.09	4,293	0.63	2,705	11.6%
	④ジャケット、ブレザー、背広(上着)	129	0.06	3,152	0.52	1,639	7.0%
	⑤ワイシャツ・ブラウス	114	0.06	2,797	0.25	699	3.0%
	⑥セーター、トレーナー、ジャージ(上着)類	317	0.16	7,764	0.37	2,873	12.3%
	⑦Tシャツ類	457	0.23	11,211	0.20	2,242	9.6%
	⑧ジーンズ素材のパンツ、スカート	230	0.12	5,642	0.39	2,200	9.4%
	⑨その他素材のパンツ・スカート、スラックス	187	0.09	4,587	0.39	1,789	7.6%
	⑩下着類(肌着・靴下など)	16	0.01	380	0.10	38	0.2%
	⑪小物類(マフラー、ハンカチなど)	95	0.05	2,318	0.06	139	0.6%
【小学生以下 の方の衣服】	⑫子供服(下着含む)	510	0.26	12,511	0.30	3,753	16.0%
	⑬乳児衣服(おむつ以外の下着含む)	179	0.09	4,391	0.10	439	1.9%
合計		2,640	1.32	64,763	-	23,404	100%

2) バザーでの中古衣料品購入実態

過去1年間における“バザー”での中古衣料品購入枚数を尋ねた結果を以下に示す。衣料品種類ごとに推計をした結果、全国の本バザーでの購入重量は約 6,300t となった。

バザー・慈善活動への寄付量(約 23,100t)と比較すると、約 3 割の値となった。つまり、バザー・慈善活動へ寄付された衣料品も、約7割は購入されずにボロ選別業者等へ引き渡されていると推測される。

バザーでの中古衣料品種類別購入量、及び全国推計値

衣料品種類		標本調査の回答枚数計	一世帯当たりの枚数	全国推計値(千枚)	一枚当たりの重量(kg/枚)	全国推計値(t)	全国推計値(t)の比率(各処理方法÷合計)
【中学生以上の方の衣服】	①厚手のコート、和服	46	0.02	1,116	1.03	1,150	18.1%
	②薄手のコート、ブルゾン	25	0.01	601	0.64	385	6.1%
	③ワンピース	48	0.02	1,165	0.63	734	11.6%
	④ジャケット、ブレザー、背広(上着)	23	0.01	552	0.52	287	4.5%
	⑤ワイシャツ・ブラウス	62	0.03	1,509	0.25	377	5.9%
	⑥セーター、トレーナー、ジャージ(上着)類	85	0.04	2,085	0.37	772	12.2%
	⑦Tシャツ類	91	0.05	2,232	0.20	446	7.0%
	⑧ジーンズ素材のパンツ、スカート	34	0.02	834	0.39	325	5.1%
	⑨その他素材のパンツ・スカート、スラックス	42	0.02	1,030	0.39	402	6.3%
	⑩下着類(肌着・靴下など)	19	0.01	466	0.10	47	0.7%
	⑪小物類(マフラー、ハンカチなど)	57	0.03	1,386	0.06	83	1.3%
【小学生以下の方の衣服】	⑫子供服(下着含む)	153	0.08	3,753	0.30	1,126	17.7%
	⑬乳児衣服(おむつ以外の下着含む)	86	0.04	2,110	0.10	211	3.3%
合計		768	0.38	18,840	-	6,344	100%

3) フリーマーケットでの中古衣料品購入実態

過去1年間における“フリーマーケット”での中古衣料品購入枚数を尋ねた結果を以下に示す。衣料品種類ごとに推計をした結果、全国のフリーマーケットでの購入重量は約 7,400t となった。

フリーマーケットでの販売量(19,300t)と比較すると、約4割の値となっている。フリーマーケットに出した衣料品も、約 6 割は購入されずに販売者の手元に残っていることが伺える。

また、標本抽出や推計方法が異なるため純粋な比較はできないが、平成 18 年度調査はバザーとフリーマーケットの購入を合わせて尋ねており、その推計値は 6,142t。購入量の対提供量比は約 4 割と、平成 18 年度調査でも約 6 割が残っていたと考えられている。

フリーマーケットでの中古衣料品種類別購入量、及び全国推計値

衣料品種類		標本調査の回答枚数計	一世帯当たりの枚数	全国推計値(千枚)	一枚当たりの重量(kg/枚)	全国推計値(t)	全国推計値(t)の比率(各処理方法÷合計)
【中学生以上の方の衣服】	①厚手のコート、和服	32	0.02	773	1.03	796	10.7%
	②薄手のコート、ブルゾン	31	0.02	760	0.64	487	6.5%
	③ワンピース	57	0.03	1,398	0.63	881	11.8%
	④ジャケット、ブレザー、背広(上着)	43	0.02	1,043	0.52	542	7.3%
	⑤ワイシャツ・ブラウス	33	0.02	797	0.25	199	2.7%
	⑥セーター、トレーナー、ジャージ(上着)類	88	0.04	2,159	0.37	799	10.7%
	⑦Tシャツ類	119	0.06	2,919	0.20	584	7.8%
	⑧ジーンズ素材のパンツ、スカート	74	0.04	1,815	0.39	708	9.5%
	⑨その他素材のパンツ・スカート、スラックス	46	0.02	1,116	0.39	435	5.9%
	⑩下着類(肌着・靴下など)	24	0.01	576	0.10	58	0.8%
	⑪小物類(マフラー、ハンカチなど)	75	0.04	1,840	0.06	110	1.5%
【小学生以下の方の衣服】	⑫子供服(下着含む)	221	0.11	5,421	0.30	1,626	21.9%
	⑬乳児衣服(おむつ以外の下着含む)	87	0.04	2,134	0.10	213	2.9%
合計		928	0.46	22,753	-	7,439	100%

4) ネットオークションでの中古衣料品購入実態

過去1年間における“ネットオークション”での中古衣料品購入枚数を尋ねた結果を以下に示す。衣料品種類ごとに推計をした結果、全国のネットオークションでの購入重量は約 16,000t となった。

ネットオークションでの販売量(29,200t)と比較すると、約 55%の値となっている。ネットオークションに出した衣料品も、半分以上は購入されずに販売者の手元に残っていることが伺える。

また、標本抽出や推計方法が異なるため純粋な比較はできないが、平成 18 年度調査の推計値は 11,807t。購入量の対提供量比は約 7 割と、約 3 割は落札されなかった分と考えられていた。

ネットオークションでの中古衣料品種類別購入量、及び全国推計値

衣料品種類		標本調査の回答枚数計	一世帯当たりの枚数	全国推計値(千枚)	一枚当たりの重量(kg/枚)	全国推計値(t)	全国推計値(t)の比率(各処理方法÷合計)
【中学生以上の方の衣服】	①厚手のコート、和服	111	0.06	2,711	1.03	2,792	17.4%
	②薄手のコート、ブルゾン	65	0.03	1,582	0.64	1,013	6.3%
	③ワンピース	164	0.08	4,011	0.63	2,527	15.7%
	④ジャケット、ブレザー、背広(上着)	77	0.04	1,889	0.52	982	6.1%
	⑤ワイシャツ・ブラウス	99	0.05	2,416	0.25	604	3.8%
	⑥セーター、トレーナー、ジャージ(上着)類	181	0.09	4,428	0.37	1,638	10.2%
	⑦Tシャツ類	239	0.12	5,863	0.20	1,173	7.3%
	⑧ジーンズ素材のパンツ、スカート	119	0.06	2,919	0.39	1,138	7.1%
	⑨その他素材のパンツ・スカート、スラックス	107	0.05	2,613	0.39	1,019	6.3%
	⑩下着類(肌着・靴下など)	38	0.02	932	0.10	93	0.6%
	⑪小物類(マフラー、ハンカチなど)	107	0.05	2,613	0.06	157	1.0%
【小学生以下の方の衣服】	⑫子供服(下着含む)	351	0.18	8,598	0.30	2,579	16.1%
	⑬乳児衣服(おむつ以外の下着含む)	135	0.07	3,312	0.10	331	2.1%
合計		1,789	0.89	43,886	-	16,047	100%

2-5 家庭用品の処理実態

1) 家庭用品別処分量

家庭用品 11 品について、過去 1 年間で処分した枚数を処理方法別に尋ねた。

衣料品同様の推計方法で算出した全国処分量推計値を以下に示す。

最も処分量が多いのは、「カーペット・じゅうたん、大判ラグ」で約 9 万 t となった。次いで「ふとん(羽毛ふとん以外)」(約 7 万 t)、「こたつふとん」(約 4 万 t)と続いている。

家庭用品の処分量、及び全国推計値

家庭用品種類	全国推計値 (千枚)	全国推計値 (t)	全国推計値 (t)の比率 (各処理方法 ÷合計)	【参考】 平成18年度調査(※1)	
				全国推計値 (千枚)	全国推計値 (t)
羽毛ふとん	8,537	12,805	14.6%	3,295	4,943
ふとん(羽毛ふとん以外)	14,240	71,202	80.9%	16,522	110,700
こたつふとん	7,776	38,882	44.2%	9,390	46,949
シーツ、枕カバー	35,251	14,101	16.0%	—	—
毛布	16,399	26,239	29.8%	16,816	26,905
薄手のカーテン	13,615	2,723	3.1%	23,181	4,636
厚手のカーテン	12,401	4,960	5.6%	15,191	6,076
小ぶりのタオル(スポーツタオル、フェイスタオル、ハンドタオル等)	123,699	12,370	14.1%	152,967	15,297
大判タオル(バスタオル、タオルケット等)	43,420	21,710	24.7%	56,745	28,372
小ぶりのマット類(キッチンマット、バスマット)	17,981	6,293	7.2%	—	—
カーペット・じゅうたん、大判ラグ	13,750	87,999	100.0%	16,838	107,765

※1. 平成 18 年度調査の結果。ただし、標本抽出といった基本設計や質問項目、ワーディング、推計方法も異なるため、比較はできない。参考値として掲載。平成 18 年度の推計方法は、世帯ごとの各家庭用品処分枚数を聞き、その処分枚数をアンケートでの把握人数(過去 1 年間における衣料品の処理方法別処理枚数を把握している人数)で除して、「1 人当たりの処分枚数」を算出。その各家庭用品の「1 人当たりの処分枚数」に総人口(127,687 千人)及び 1 枚当たりの重量を乗じて、全国の処分量推計値を出力していると考えられる。

2) 家庭用品別処分量の詳細

① 羽毛ふとん

過去1年間における羽毛ふとんの処分枚数を尋ねた結果を以下に示す。最も多く処理されているのは「可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する」で約 2,800t、次に「粗大ごみとして廃棄する」「自治体回収の資源ごみとして廃棄する」が続き約 1,300t、合計は約 12,800t である。

標本抽出、推計方法等が異なるため比較はできないが、平成 18 年度調査の全体推計値は 4,943t。

羽毛ふとんの処理方法別処分量、及び全国推計値

処理方法	標本調査の回答枚数計	一世帯当たりの枚数	全国推計値(千枚)	一枚当たりの重量(kg/枚)	全国推計値(t)	全国推計値(t)の比率(各処理方法÷合計)
①地域の集団回収に提供する	29	0.01	699	1.50	1,049	8.2%
②自治体回収の資源ごみとして廃棄する	36	0.02	883	1.50	1,325	10.3%
③可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する	78	0.04	1,901	1.50	2,852	22.3%
④粗大ごみとして廃棄する	37	0.02	908	1.50	1,361	10.6%
⑤親類・友人等に譲渡する(新品のプレゼントは除く)	23	0.01	552	1.50	828	6.5%
⑥販売店に下取り(新しい商品の購入等を条件に古い商品を提供)で販売する	29	0.01	699	1.50	1,049	8.2%
⑦リサイクルショップ等に販売する	22	0.01	527	1.50	791	6.2%
⑧バザーや慈善活動に寄付する	14	0.01	331	1.50	497	3.9%
⑨フリーマーケットで販売する	23	0.01	564	1.50	846	6.6%
⑩ネットオークションで販売する	35	0.02	859	1.50	1,288	10.1%
⑪他の用途に再利用する	25	0.01	613	1.50	920	7.2%
合計	348	0.17	8,537	-	12,805	100%

※ 一枚当たりの重量は平成 18 年度調査の数値を用いている。

② ふとん(羽毛ふとん以外)

過去1年間におけるふとん(羽毛ふとん以外)の処分枚数を尋ねた結果を以下に示す。最も多く処理されているのは「粗大ごみとして廃棄する」で約 21,700t、次に「可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する」で約 19,600t、3番目は「自治体回収の資源ごみとして廃棄する」13,400t、合計は約 71,200t となった。

標本抽出や、質問方法、推計方法が異なるため比較はできないが、平成 18 年度調査の全体推計値は 110,700t。今回、平成 18 年度調査同様の一枚当たりの重量(6.7kg/枚)を仮に用いると、合計は約 95,400t と増加するが、平成 18 年度調査の総量には及ばない。

ふとん(羽毛ふとん以外)の処理方法別処分量、及び全国推計値

処理方法	標本調査の回答枚数計	一世帯当たりの枚数	全国推計値(千枚)	一枚当たりの重量(kg/枚)	全国推計値(t)	全国推計値(t)の比率(各処理方法÷合計)
①地域の集団回収に提供する	47	0.02	1,153	5.00	5,765	8.1%
②自治体回収の資源ごみとして廃棄する	109	0.05	2,674	5.00	13,370	18.8%
③可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する	160	0.08	3,913	5.00	19,564	27.5%
④粗大ごみとして廃棄する	177	0.09	4,342	5.00	21,710	30.5%
⑤親類・友人等に譲渡する(新品のプレゼントは除く)	13	0.01	307	5.00	1,533	2.2%
⑥販売店に下取り(新しい商品の購入等を条件に古い商品を提供)で販売する	25	0.01	601	5.00	3,005	4.2%
⑦リサイクルショップ等に販売する	8	0.00	184	5.00	920	1.3%
⑧バザーや慈善活動に寄付する	7	0.00	159	5.00	797	1.1%
⑨フリーマーケットで販売する	7	0.00	159	5.00	797	1.1%
⑩ネットオークションで販売する	5	0.00	123	5.00	613	0.9%
⑪他の用途に再利用する	26	0.01	626	5.00	3,128	4.4%
合計	581	0.29	14,240	-	71,202	100%

※一枚当たりの重量は全日本寝具寝装品協会ヒアリング結果を用いている。

③ こたつふとん

過去1年間におけるこたつふとんの処分枚数を尋ねた結果を以下に示す。最も多く処理されているのは「可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する」で約 10,200t、次は羽毛ふとん同様、「粗大ごみとして廃棄する」「自治体回収の資源ごみとして廃棄する」が続き、合計 38,900t となった。

標本抽出や、質問方法、推計方法が異なるため比較はできないが、平成 18 年度調査の全体推計値は 46,949t。

こたつふとんの処理方法別処分量、及び全国推計値

処理方法	標本調査の 回答枚数計	一世帯当 たりの枚数	全国推計値 (千枚)	一枚当 たりの重 量 (kg/枚)	全国推計値 (t)	全国推計値(t) の比率 (各処理方法 ÷合計)
①地域の集団回収に提供する	24	0.01	576	5.00	2,882	7.4%
②自治体回収の資源ごみとして廃棄する	50	0.03	1,227	5.00	6,133	15.8%
③可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する	83	0.04	2,036	5.00	10,180	26.2%
④粗大ごみとして廃棄する	52	0.03	1,276	5.00	6,378	16.4%
⑤親類・友人等に譲渡する(新品のプレゼントは除く)	25	0.01	601	5.00	3,005	7.7%
⑥販売店に下取り(新しい商品の購入等を条件に古い商品を提供)で販売する	14	0.01	343	5.00	1,717	4.4%
⑦リサイクルショップ等に販売する	15	0.01	368	5.00	1,840	4.7%
⑧バザーや慈善活動に寄付する	15	0.01	368	5.00	1,840	4.7%
⑨フリーマーケットで販売する	15	0.01	368	5.00	1,840	4.7%
⑩ネットオークションで販売する	9	0.00	221	5.00	1,104	2.8%
⑪他の用途に再利用する	16	0.01	393	5.00	1,963	5.0%
合計	317	0.16	7,776	-	38,882	100%

※ 一枚当たりの重量は平成 18 年度調査の数値を用いている。

④ シーツ、枕カバー

過去1年間におけるシーツ、枕カバーの処分枚数を尋ねた結果を以下に示す。最も多く処理されているのは「可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する」で約 7,100t、次点は「自治体回収の資源ごみとして廃棄する」の約 2,300t、続いて「他の用途に利用する」で約 1,300t、合計は約 14,100t である。

シーツ、枕カバーの処理方法別処分量、及び全国推計値

処理方法	標本調査の 回答枚数計	一世帯当 たりの枚数	全国推計値 (千枚)	一枚当 たりの重 量 (kg/枚)	全国推計値 (t)	全国推計値(t) の比率 (各処理方法 ÷合計)
①地域の集団回収に提供する	111	0.06	2,723	0.40	1,089	7.7%
②自治体回収の資源ごみとして廃棄する	235	0.12	5,753	0.40	2,301	16.3%
③可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する	721	0.36	17,687	0.40	7,075	50.2%
④粗大ごみとして廃棄する	53	0.03	1,300	0.40	520	3.7%
⑤親類・友人等に譲渡する(新品のプレゼントは除く)	51	0.03	1,239	0.40	496	3.5%
⑥販売店に下取り(新しい商品の購入等を条件に古い商品を提供)で販売する	41	0.02	994	0.40	397	2.8%
⑦リサイクルショップ等に販売する	21	0.01	503	0.40	201	1.4%
⑧バザーや慈善活動に寄付する	26	0.01	626	0.40	250	1.8%
⑨フリーマーケットで販売する	31	0.02	760	0.40	304	2.2%
⑩ネットオークションで販売する	16	0.01	380	0.40	152	1.1%
⑪他の用途に再利用する	134	0.07	3,287	0.40	1,315	9.3%
合計	1,437	0.72	35,251	-	14,101	100%

※一枚当たりの重量は「家庭用・インテリア用・産業用繊維消費量調査報告書、1999 年実績」(日本化学繊維協会、2000 年)から算出し、仮定している。

⑤ 毛布

過去1年間における毛布の処分枚数を尋ねた結果を以下に示す。最も多く処理されているのは「可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する」で約 4,900t、次に「自治体回収の資源ごみとして廃棄する」の約 3,800t、「粗大ごみとして廃棄する」が約 3,700t、合計は約 26,200t である。

標本抽出や、質問方法、推計方法が異なるため比較はできないが、平成 18 年度調査の全体推計値は 26,905t とほぼ変わらない。

毛布の処理方法別処分量、及び全国推計値

処理方法	標本調査の 回答枚数計	一世帯当 たりの枚数	全国推計値 (千枚)	一枚当 たりの重 量 (kg/枚)	全国推計値 (t)	全国推計値(t) の比率 (各処理方法 ÷合計)
①地域の集団回収に提供する	71	0.04	1,729	1.60	2,767	10.5%
②自治体回収の資源ごみとして廃棄する	96	0.05	2,355	1.60	3,768	14.4%
③可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する	126	0.06	3,091	1.60	4,946	18.8%
④粗大ごみとして廃棄する	93	0.05	2,281	1.60	3,650	13.9%
⑤親類・友人等に譲渡する(新品のプレゼントは除く)	43	0.02	1,055	1.60	1,688	6.4%
⑥販売店に下取り(新しい商品の購入等を条件に古い商品を提供)で販売する	29	0.01	699	1.60	1,119	4.3%
⑦リサイクルショップ等に販売する	30	0.02	736	1.60	1,178	4.5%
⑧バザーや慈善活動に寄付する	56	0.03	1,361	1.60	2,178	8.3%
⑨フリーマーケットで販売する	37	0.02	908	1.60	1,452	5.5%
⑩ネットオークションで販売する	34	0.02	834	1.60	1,335	5.1%
⑪他の用途に再利用する	55	0.03	1,349	1.60	2,159	8.2%
合計	669	0.33	16,399	-	26,239	100%

※一枚当たりの重量は平成 18 年度調査の数値を用いている。

⑥ 薄手のカーテン

過去1年間における薄手のカーテンの処分枚数を尋ねた結果を以下に示す。最も多く処理されているのは「可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する」で約 1,100t、次に「自治体回収の資源ごみとして廃棄する」の約 600t、合計は約 2,700t である。

標本抽出や、質問方法、推計方法が異なるため比較はできないが、平成 18 年度調査の全体推計値は 4,636t。

薄手のカーテンの処理方法別処分量、及び全国推計値

処理方法	標本調査の 回答枚数計	一世帯当 たりの枚数	全国推計値 (千枚)	一枚当 たりの重 量 (kg/枚)	全国推計値 (t)	全国推計値(t) の比率 (各処理方法 ÷合計)
①地域の集団回収に提供する	28	0.01	687	0.20	137	5.0%
②自治体回収の資源ごみとして廃棄する	126	0.06	3,091	0.20	618	22.7%
③可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する	229	0.11	5,618	0.20	1,124	41.3%
④粗大ごみとして廃棄する	60	0.03	1,460	0.20	292	10.7%
⑤親類・友人等に譲渡する(新品のプレゼントは除く)	30	0.01	724	0.20	145	5.3%
⑥販売店に下取り(新しい商品の購入等を条件に古い商品を提供)で販売する	7	0.00	159	0.20	32	1.2%
⑦リサイクルショップ等に販売する	21	0.01	503	0.20	101	3.7%
⑧バザーや慈善活動に寄付する	12	0.01	282	0.20	56	2.1%
⑨フリーマーケットで販売する	2	0.00	49	0.20	10	0.4%
⑩ネットオークションで販売する	11	0.01	258	0.20	52	1.9%
⑪他の用途に再利用する	32	0.02	785	0.20	157	5.8%
合計	555	0.28	13,615	-	2,723	100%

※一枚当たりの重量は平成 18 年度調査の数値を用いている。

⑦ 厚手のカーテン

過去1年間における厚手のカーテンの処分枚数を尋ねた結果を以下に示す。最も多く処理されているのは「可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する」で約 1,800t、次に「自治体回収の資源ごみとして廃棄する」の約 1,000t、合計は約 5,000t である。

標本抽出や、質問方法、推計方法が異なるため比較はできないが、平成 18 年度調査の全体推計値は 6,076t となっている。

厚手のカーテンの処理方法別処分量、及び全国推計値

処理方法	標本調査の 回答枚数計	一世帯当 たりの枚数	全国推計値 (千枚)	一枚当 たりの重 量 (kg/枚)	全国推計値 (t)	全国推計値(t) の比率 (各処理方法 ÷合計)
①地域の集団回収に提供する	40	0.02	981	0.40	393	7.9%
②自治体回収の資源ごみとして廃棄する	106	0.05	2,588	0.40	1,035	20.9%
③可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する	188	0.09	4,600	0.40	1,840	37.1%
④粗大ごみとして廃棄する	45	0.02	1,092	0.40	437	8.8%
⑤親類・友人等に譲渡する(新品のプレゼントは除く)	30	0.01	724	0.40	289	5.8%
⑥販売店に下取り(新しい商品の購入等を条件に古い商品を提供)で販売する	23	0.01	552	0.40	221	4.5%
⑦リサイクルショップ等に販売する	18	0.01	429	0.40	172	3.5%
⑧バザーや慈善活動に寄付する	16	0.01	393	0.40	157	3.2%
⑨フリーマーケットで販売する	14	0.01	343	0.40	137	2.8%
⑩ネットオークションで販売する	15	0.01	368	0.40	147	3.0%
⑪他の用途に再利用する	14	0.01	331	0.40	132	2.7%
合計	506	0.25	12,401	-	4,960	100%

※一枚当たりの重量は平成 18 年度調査の数値を用いている。

⑧ 小ぶりのタオル(スポーツタオル、フェルトタオル等)

過去1年間における小ぶりのタオルの処分枚数を尋ねた結果を以下に示す。最も多く処理されているのは「可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する」で約 6,900t、続いて「他の用途に再利用する」の約 3,000t、合計は約 12,400t である。

標本抽出や、質問方法、推計方法が異なるため比較はできないが、平成 18 年度調査の全体推計値は 15,297t となっている。

小ぶりのタオルの処理方法別処分量、及び全国推計値

処理方法	標本調査の 回答枚数計	一世帯当 たりの枚数	全国推計値 (千枚)	一枚当 たりの重 量 (kg/枚)	全国推計値 (t)	全国推計値(t) の比率 (各処理方法 ÷合計)
①地域の集団回収に提供する	202	0.10	4,943	0.10	494	4.0%
②自治体回収の資源ごみとして廃棄する	391	0.20	9,592	0.10	959	7.8%
③可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する	2,814	1.41	69,019	0.10	6,902	55.8%
④粗大ごみとして廃棄する	96	0.05	2,343	0.10	234	1.9%
⑤親類・友人等に譲渡する(新品のプレゼントは除く)	88	0.04	2,146	0.10	215	1.7%
⑥販売店に下取り(新しい商品の購入等を条件に古い商品を提供)で販売する	31	0.02	748	0.10	75	0.6%
⑦リサイクルショップ等に販売する	30	0.02	736	0.10	74	0.6%
⑧バザーや慈善活動に寄付する	109	0.05	2,662	0.10	266	2.2%
⑨フリーマーケットで販売する	33	0.02	810	0.10	81	0.7%
⑩ネットオークションで販売する	36	0.02	871	0.10	87	0.7%
⑪他の用途に再利用する	1,216	0.61	29,830	0.10	2,983	24.1%
合計	5,043	2.52	123,699	-	12,370	100%

※一枚当たりの重量は平成 18 年度調査の数値を用いている。

⑨ 大判タオル(バスタオル、タオルケット等)

過去1年間における大判タオルの処分枚数を尋ねた結果を以下に示す。最も多く処理されているのは「可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する」で約 12,100t、続いて「他の用途に再利用する」の約 5,000t、合計は約 21,700t である。

標本抽出や、質問方法、推計方法が異なるため比較はできないが、平成 18 年度調査の全体推計値は 28,372t。

大判タオルの処理方法別処分量、及び全国推計値

処理方法	標本調査の 回答枚数計	一世帯当 たりの枚数	全国推計値 (千枚)	一枚当 たりの重 量 (kg/枚)	全国推計値 (t)	全国推計値(t) の比率 (各処理方法 ÷合計)
①地域の集団回収に提供する	88	0.04	2,146	0.50	1,073	4.9%
②自治体回収の資源ごみとして廃棄する	166	0.08	4,060	0.50	2,030	9.4%
③可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する	988	0.49	24,225	0.50	12,112	55.8%
④粗大ごみとして廃棄する	15	0.01	368	0.50	184	0.8%
⑤親類・友人等に譲渡する(新品のプレゼントは除く)	26	0.01	638	0.50	319	1.5%
⑥販売店に下取り(新しい商品の購入等を条件に古い商品を提供)で販売する	14	0.01	331	0.50	166	0.8%
⑦リサイクルショップ等に販売する	18	0.01	442	0.50	221	1.0%
⑧バザーや慈善活動に寄付する	28	0.01	675	0.50	337	1.6%
⑨フリーマーケットで販売する	12	0.01	282	0.50	141	0.6%
⑩ネットオークションで販売する	10	0.01	245	0.50	123	0.6%
⑪他の用途に再利用する	408	0.20	10,009	0.50	5,004	23.1%
合計	1,770	0.89	43,420	-	21,710	100%

※一枚当たりの重量は平成 18 年度調査の数値を用いている。

⑩ 小ぶりのマット類(キッチンマット、バスマット等)

過去1年間における小ぶりのマット類の処分枚数を尋ねた結果を以下に示す。最も多く処理されているのは「可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する」で約 3,600t、合計は約 6,300t である。

小ぶりのマットの処理方法別処分量、及び全国推計値

処理方法	標本調査の 回答枚数計	一世帯当 たりの枚数	全国推計値 (千枚)	一枚当 たりの重 量 (kg/枚)	全国推計値 (t)	全国推計値(t) の比率 (各処理方法 ÷合計)
①地域の集団回収に提供する	42	0.02	1,030	0.35	361	5.7%
②自治体回収の資源ごみとして廃棄する	105	0.05	2,576	0.35	902	14.3%
③可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する	425	0.21	10,414	0.35	3,645	57.9%
④粗大ごみとして廃棄する	29	0.01	699	0.35	245	3.9%
⑤親類・友人等に譲渡する(新品のプレゼントは除く)	21	0.01	515	0.35	180	2.9%
⑥販売店に下取り(新しい商品の購入等を条件に古い商品を提供)で販売する	16	0.01	380	0.35	133	2.1%
⑦リサイクルショップ等に販売する	14	0.01	331	0.35	116	1.8%
⑧バザーや慈善活動に寄付する	10	0.01	245	0.35	86	1.4%
⑨フリーマーケットで販売する	12	0.01	282	0.35	99	1.6%
⑩ネットオークションで販売する	14	0.01	343	0.35	120	1.9%
⑪他の用途に再利用する	48	0.02	1,165	0.35	408	6.5%
合計	733	0.37	17,981	-	6,293	100%

※一枚当たりの重量は「家庭用・インテリア用・産業用繊維消費量調査報告書、1999 年実績」(日本化学繊維協会、2000 年)から算出し、仮定している。

⑪ カーペット・じゅうたん、大判ラグ

過去1年間におけるカーペット・じゅうたん、大判ラグの処分枚数を尋ねた結果を以下に示す。最も多く処理されているのは「可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する」で約 32,300t、続いて「粗大ごみとして廃棄する」の約 22,300t、合計は約 88,000t である。

標本抽出や、質問方法、推計方法が異なるため比較はできないが、平成 18 年度調査の全体推計値は 107,765t。

カーペット・じゅうたん、大判ラグの処理方法別処分量、及び全国推計値

処理方法	標本調査の 回答枚数計	一世帯当 たりの枚数	全国推計値 (千枚)	一枚当 たりの重 量 (kg/枚)	全国推計値 (t)	全国推計値(t) の比率 (各処理方法 ÷合計)
①地域の集団回収に提供する	36	0.02	883	6.40	5,652	6.4%
②自治体回収の資源ごみとして廃棄する	69	0.03	1,680	6.40	10,755	12.2%
③可燃ごみ・不燃ごみ等として廃棄する	206	0.10	5,041	6.40	32,264	36.7%
④粗大ごみとして廃棄する	142	0.07	3,483	6.40	22,294	25.3%
⑤親類・友人等に譲渡する(新品のプレゼントは除く)	31	0.02	760	6.40	4,867	5.5%
⑥販売店に下取り(新しい商品の購入等を条件に古い商品を提供)で販売する	10	0.01	245	6.40	1,570	1.8%
⑦リサイクルショップ等に販売する	15	0.01	356	6.40	2,277	2.6%
⑧バザーや慈善活動に寄付する	12	0.01	282	6.40	1,806	2.1%
⑨フリーマーケットで販売する	8	0.00	184	6.40	1,178	1.3%
⑩ネットオークションで販売する	7	0.00	159	6.40	1,021	1.2%
⑪他の用途に再利用する	28	0.01	675	6.40	4,318	4.9%
合計	561	0.28	13,750	-	87,999	100%

※一枚当たりの重量は平成 18 年度調査の数値を用いている。

II ポロ選別業者アンケート

1. 調査方法

ポロ選別業者等を介した繊維製品の回収、リサイクル実態を把握するため、郵送調査（配布、回収ともに郵送）を実施した。

調査対象条件は、

- ・ 日本繊維屑輸出組合加盟企業
- ・ ウェス加工・製造業（インターネットタウンページで“ウェス”と業種区分された業者）

で、計 511 社。

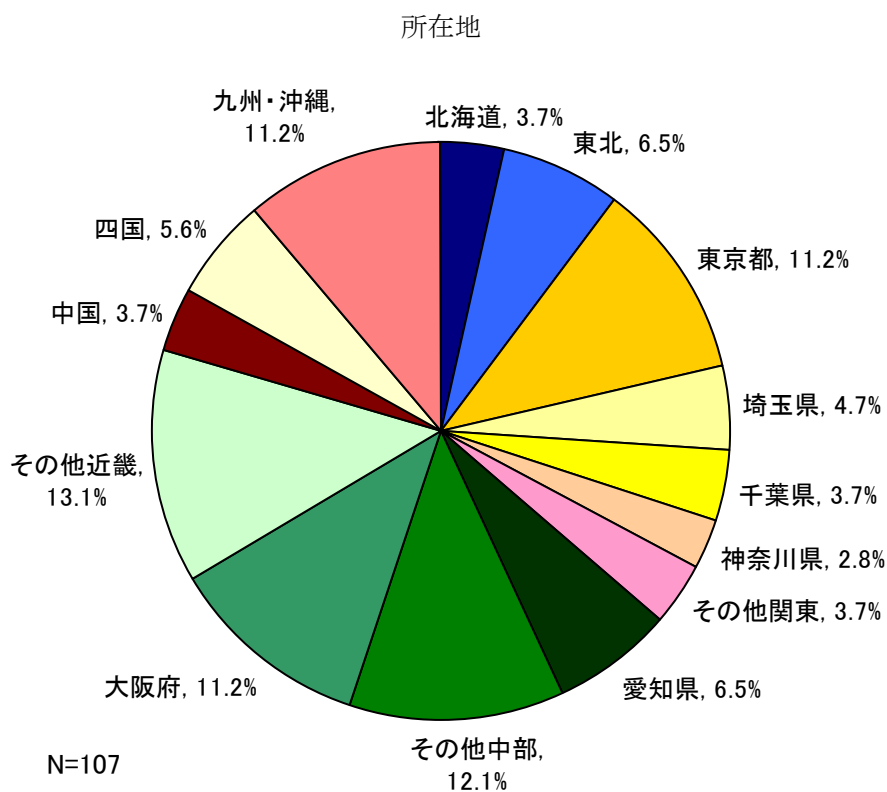
実査期間は、2010 年 1 月 20 日（水）に配布開始、29 日（金）を投函締切日とした。集計対象数は 107 件。配布のうち、20.9%）となった。

2. 調査結果

2-1 回答企業の概要

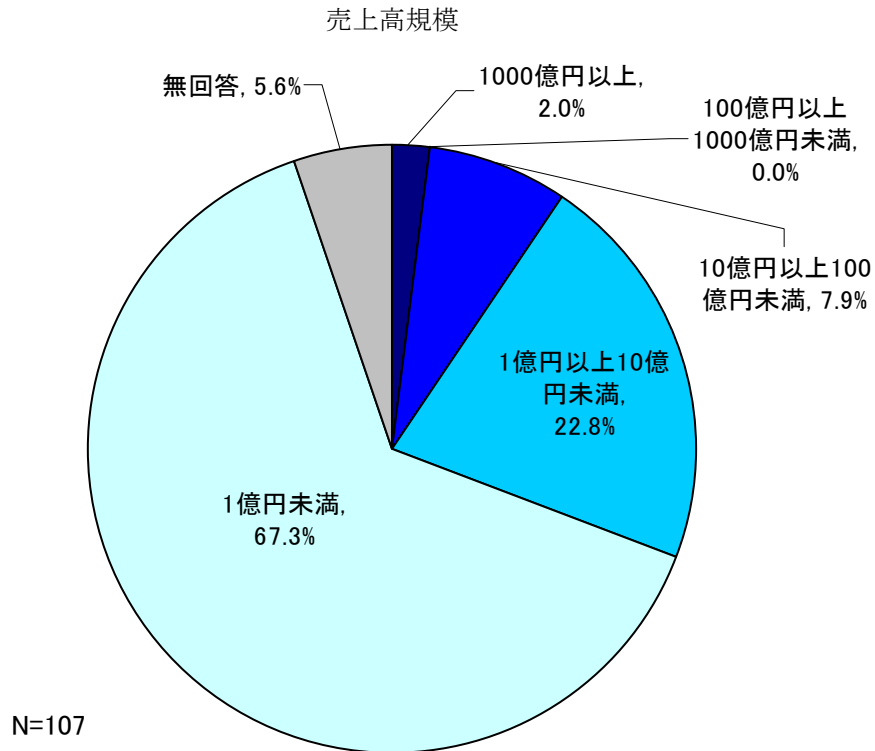
1) 所在地

所在地の分布は次のとおりである。



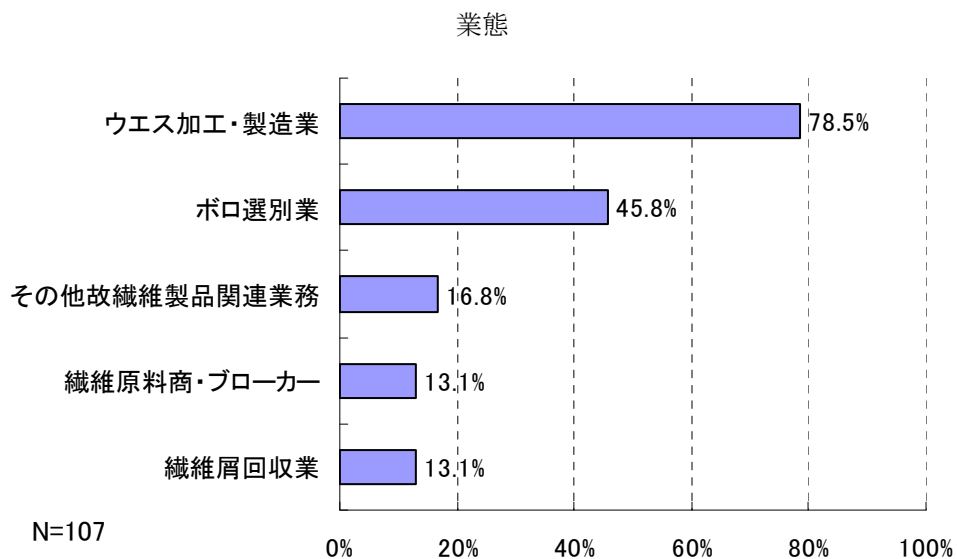
2) 売上高規模

売上高規模をみると、「1億円未満」が67.3%と約7割。次いで、「1億円以上10億円未満」の22.8%となっている。「1000億円以上」は僅かに2%。



3) 業務内容

業務内容は、「ウエス加工・製造業」と回答した企業が最も多く、78.5%となっている。次に、「ボロ選別業」が45.8%と約半数、「その他故繊維製品関連業務」は16.8%と続いている。



2-2 故繊維回収量及び増減傾向

1) 2008 年度の回収量

2008 年度の回収量は、以下のとおり。ボロ(家庭からの排出物)が 1.123t、屑繊維(事業者からの排出物)は 395t となった。

2008 年度の回収量

	1社平均値	回答数
ボロ(家庭からの排出物)	1,123 t	84
屑繊維(事業者からの排出物)	395 t	76
合計	1,638 t	73

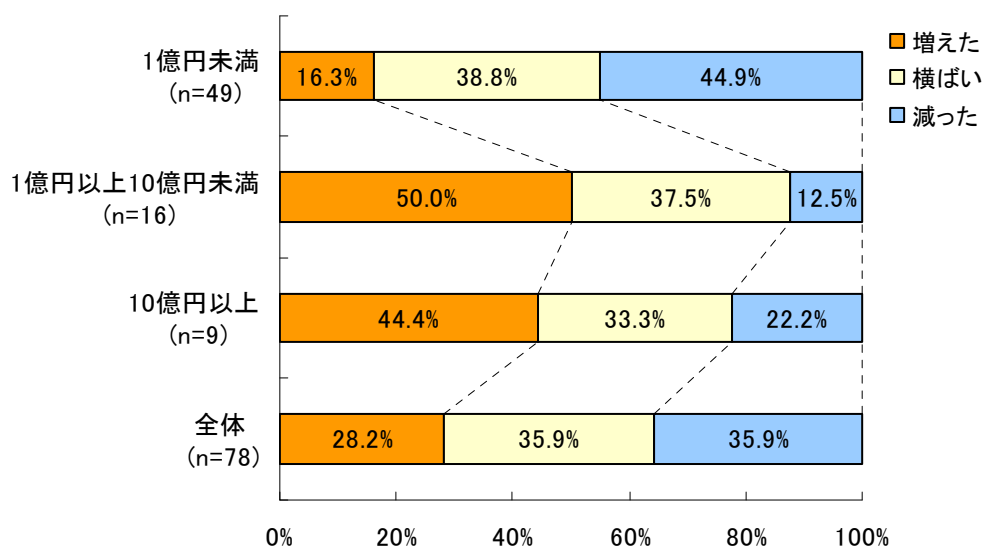
2) 2005 年度からの増減傾向

① ボロ

2005 年度と比較すると、全体の 3 割弱が「増えた」と回答。また、「横ばい」「減った」との回答は 35.9% とほぼ同数となった。

直近の売上高別にみると、「1 億円未満」は「減った」(44.9%)が「増えた」(16.3%)を大きく上回り、小規模企業の状況悪化が伺える。

ボロ回収量 2005 年度からの増減傾向



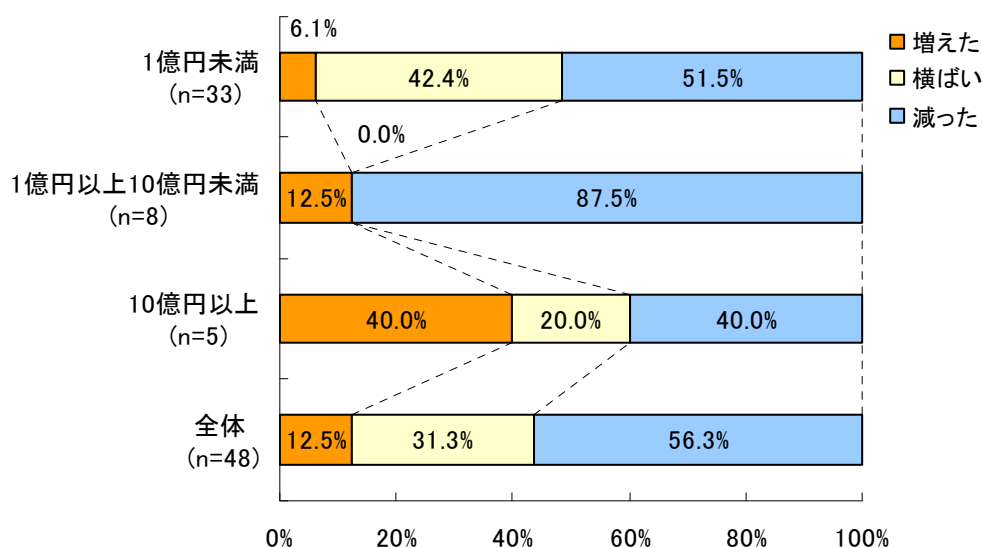
※n 数が 30s 未満は参考値とする

② 屑繊維

2005 年度と比較すると、全体では、「増えた」との回答が約 1 割で、ボロに比べて低い。「横ばい」は 31.3%で、「減った」との回答は 5 割を超えている。

直近の売上高別にみると、「1 億円未満」は、全体に比べて「増えた」「減った」が僅かに低く、「横ばい」が高くなった。

屑繊維回収量 2005 年度からの増減傾向

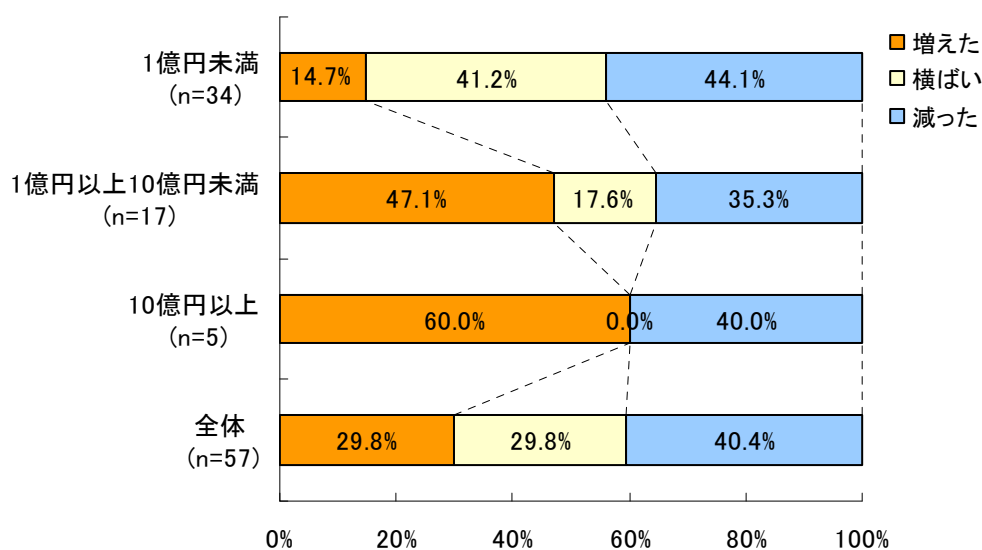


※n 数が 30s 未満は参考値とする

③ 合計

2005 年度と比較すると、全体の約 3 割が「増えた」「横ばい」、4 割が「減った」と回答。直近の売上高別では、「1 億円未満」は全体に比べて「増えた」が低く、「横ばい」が高い傾向。

回収量合計 2005 年度からの増減傾向



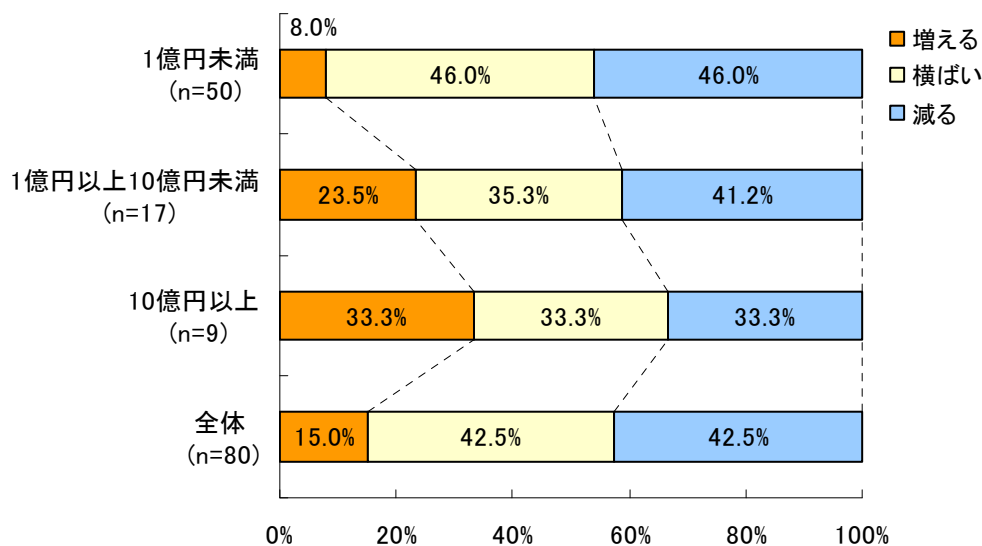
※n 数が 30s 未満は参考値とする

3) 2009 年度の増減予測

① ポロ

2008 年度と比較した 2009 年度予測をみると、全体は「増える」との回答が 2 割を切っている。直近の売上高別では、「1 億円未満」で「増える」が 1 割未満と低い。

ポロ 2009 年度の増減予測

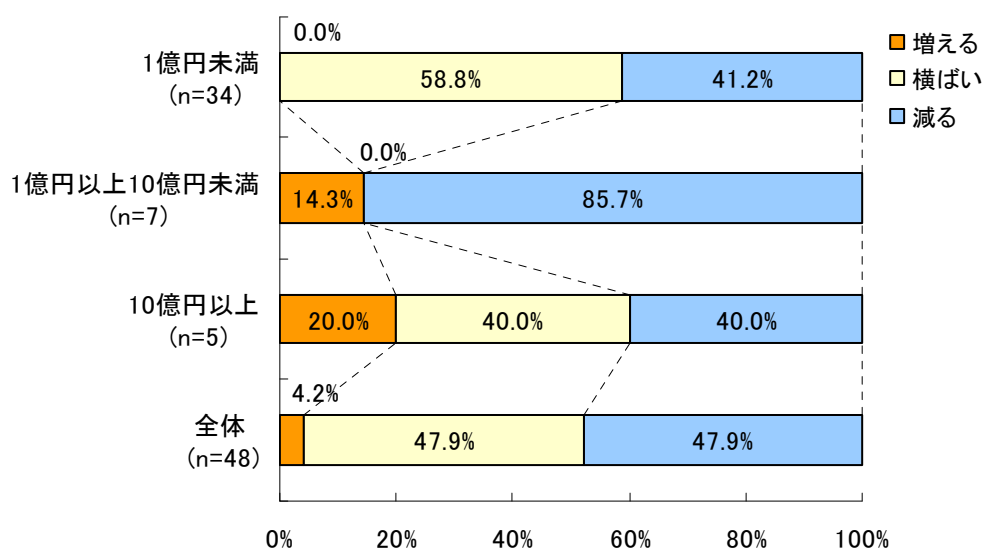


※n 数が 30s 未満は参考値とする

② 屑繊維

2008 年度と比較した 2009 年度予測をみると、全体は「増える」との回答が 5%を切る。また、直近の売上高が「1 億円未満」で「増える」との回答が 0%となった。

屑繊維 2009 年度の増減予測

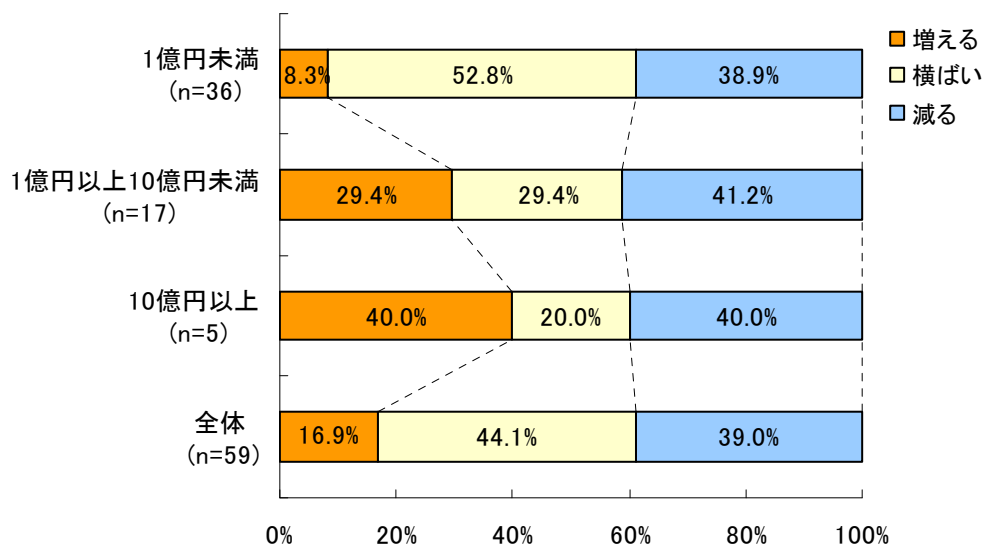


※n 数が 30s 未満は参考値とする

③ 全体

2008 年度と比較した 2009 年度予測をみると、全体は「増える」との回答 16.9%。直近の売上高が「1 億円未満」は「横ばい」との回答が 5 割を超え、「増える」が 1 割を切った。

全体 2009 年度の増減予測



※n 数が 30s 未満は参考値

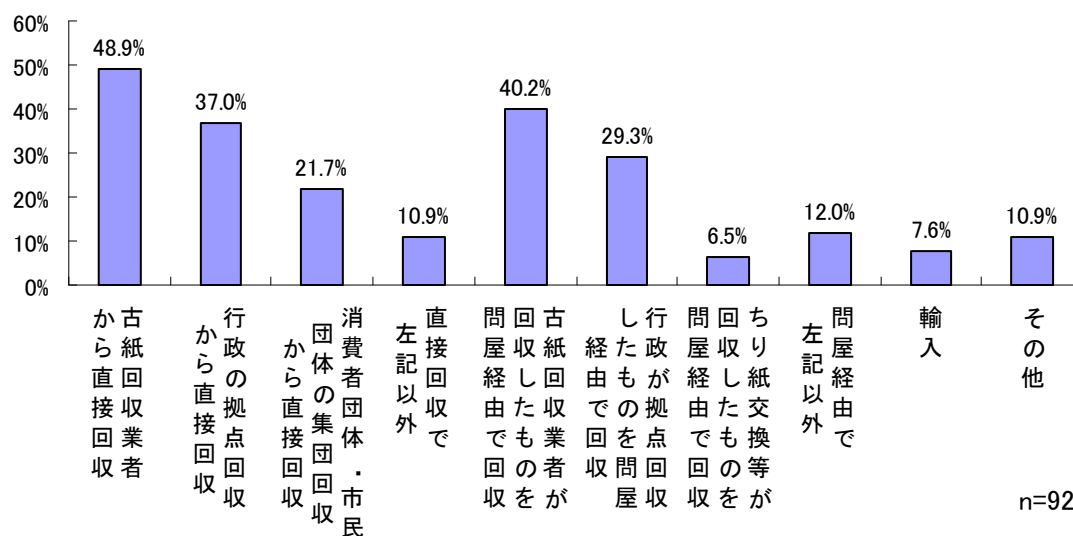
2-3 故繊維の回収方法

1) ボロ(家庭からの排出物)

① 2008 年度の回収方法

最も多いのが、「古紙回収業者からの直接回収」で約 5 割。次いで、「古紙回収業者が回収したものを問屋経由で回収」(40.2%)、「行政からの拠点回収から直接回収」(37.0%)となっている。

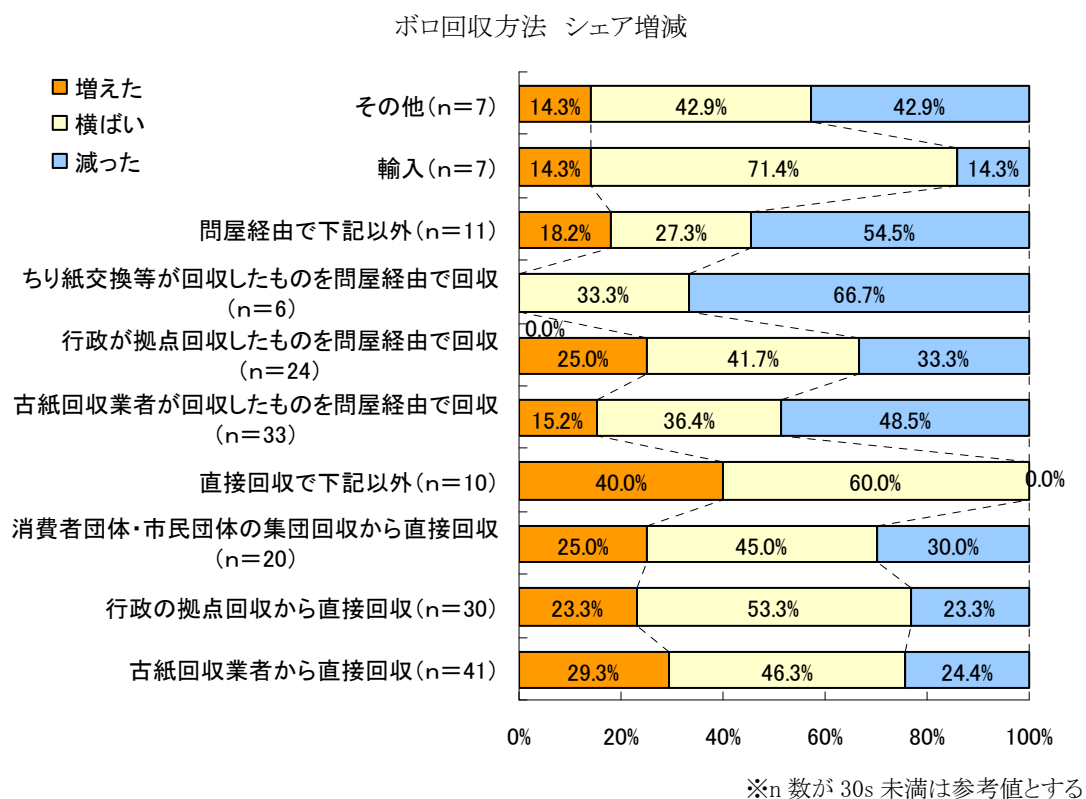
ボロ 回収方法



※n 数が 30s 未満は参考値とする

② 2005 年度からのシェア増減傾向

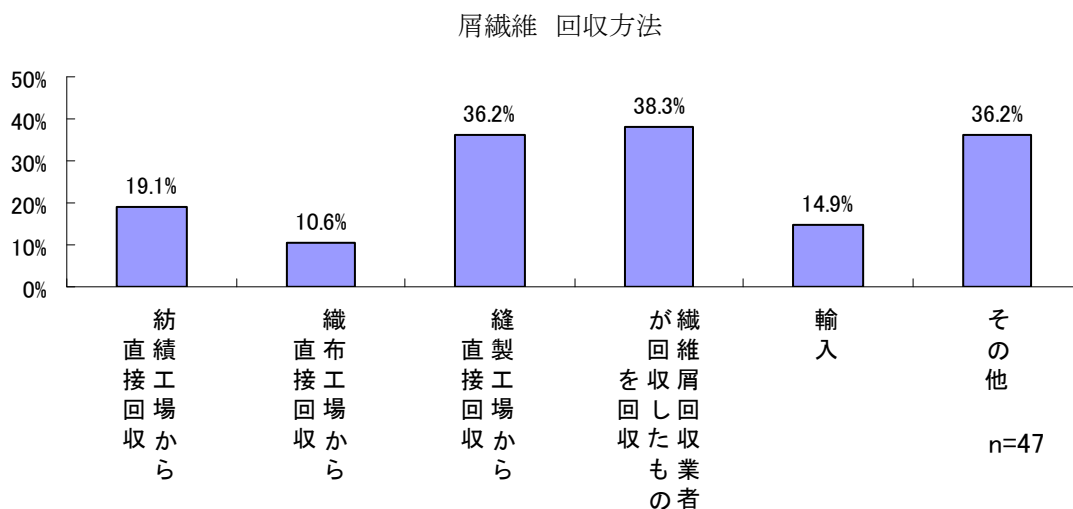
シェアが「増えた」との回答が最も高かったのは「直接回収で下記以外」で 40.0% (参考値)。次いで、「古紙回収業者からの直接回収」(29.3%)、「行政の拠点回収から直接回収」「行政が拠点回収したものを問屋経由で回収」(25.0%)と続く。一方、シェアが「減った」との回答比率が高い方法は、「古紙回収業者が回収したものを問屋経由で回収」等が挙げられる。



2) 屑繊維(事業者からの排出物)

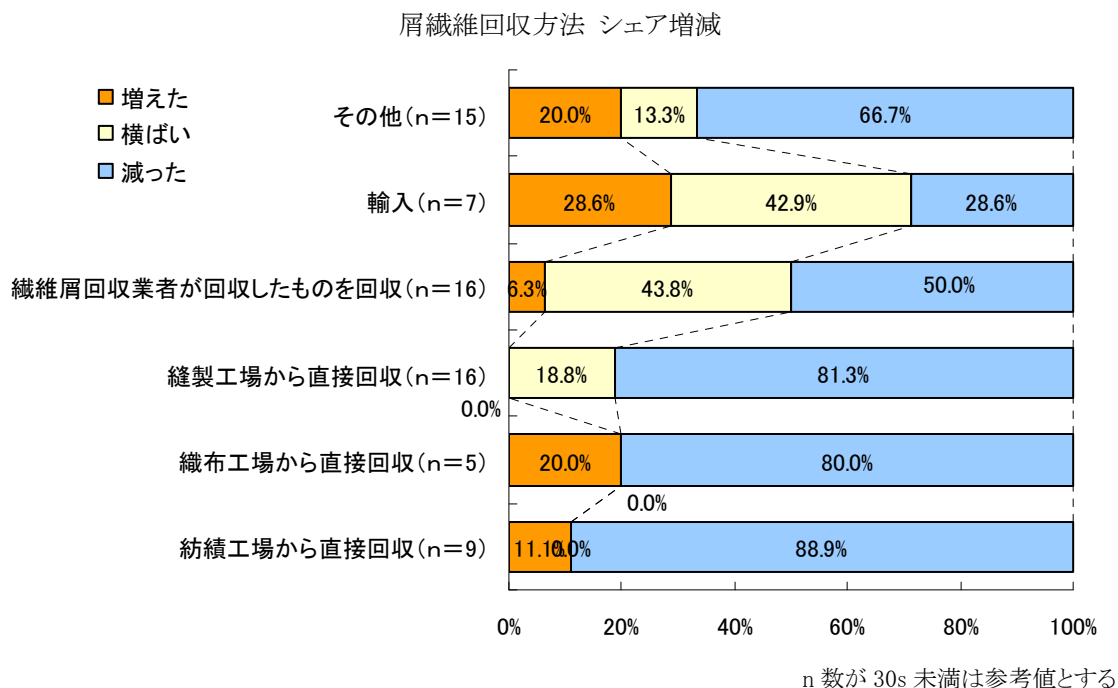
① 2008 年度の回収方法

「繊維屑回収業者が回収したもの」が最も高く、38.3%。「縫製工場」「その他」(36.2%)と続く。「その他」として具体例が挙げたのは染色工場やクリーニング工場からの回収。



② 2005 年度からのシェア増減傾向

参考値になるが、直接回収のシェアは減少傾向がみられる。輸入は、増加と減少の比率が同一。

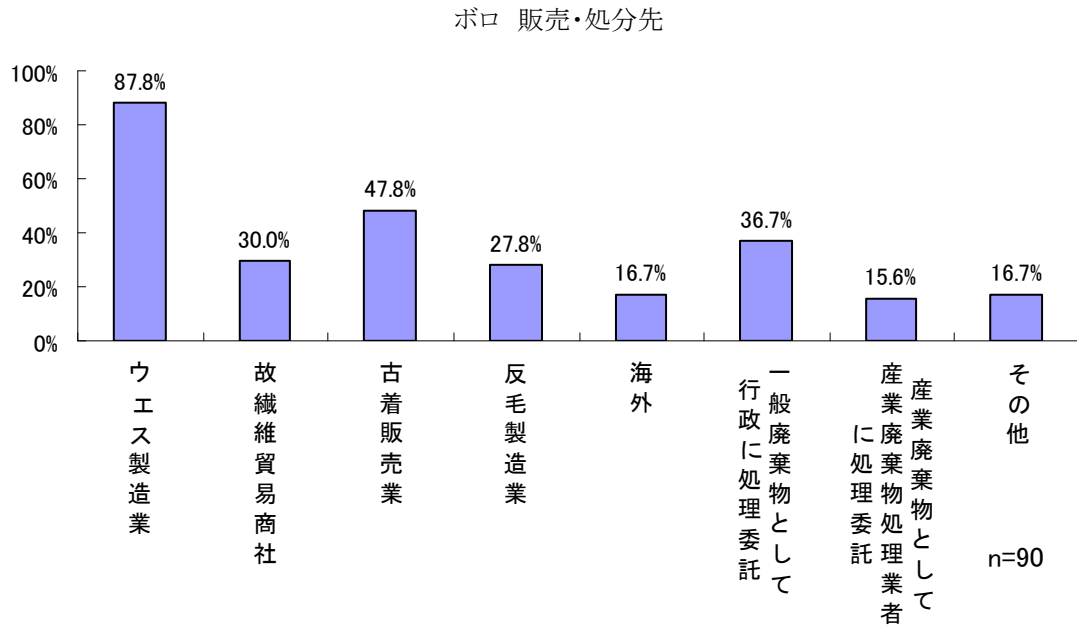


2-4 故繊維回収後の販売・処分先

1) ボロ(家庭からの排出物)

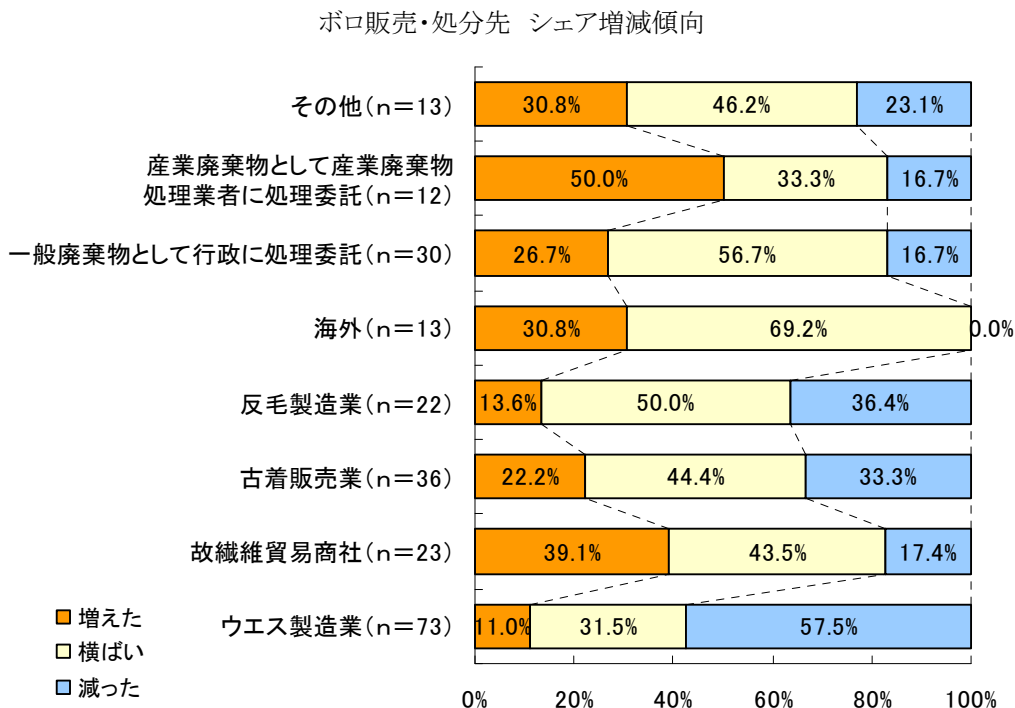
① 2008 年度の販売・処分先

「ウエス製造業」への販売が約 9 割と最も高い。次いで、「古着販売業」(47.8%)、「一般廃棄物として行政に処理委託」(36.7%)。



② 2005 年度からのシェア増減傾向

ウエス製造業は、約 6 割が「減った」と回答。一方、「一般廃棄物として行政に処理委託」等は「増えた」が「減った」比率を上回っている。



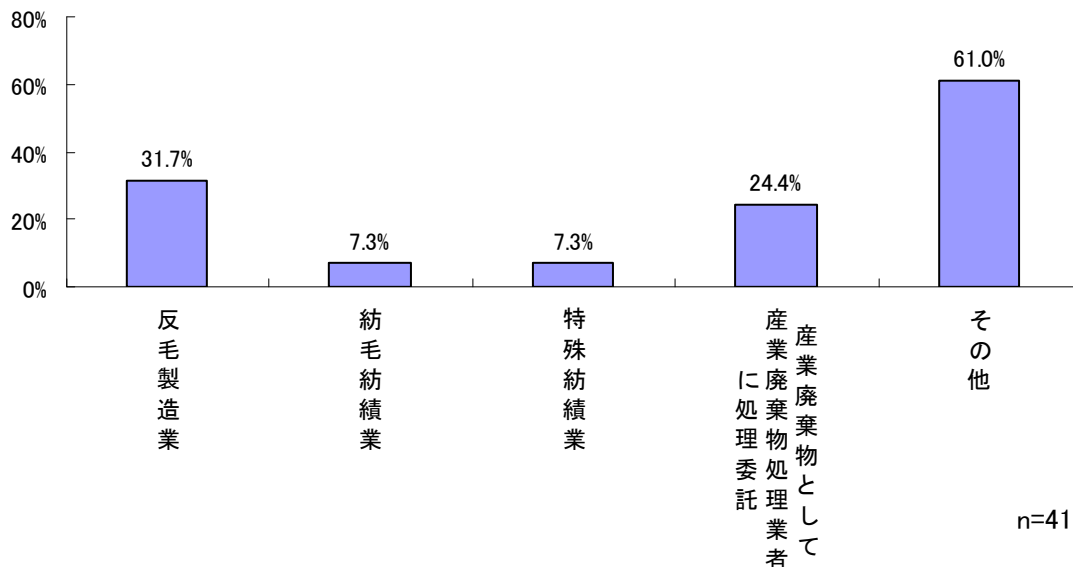
※n 数が 30s 未満は参考値とする

2) 屑繊維(事業者からの排出物)

① 2008 年度の販売・処分先

「その他」(61.0%)が最も高く、「反毛製造業」(31.7%)、「産廃処理業者に処理委託(24.4%)と続く。「その他」の販売・処分先として具体例が挙げたのはウエス製造業者(「その他」のうち約 30%)、造船所や工場、海外(「その他」のうち各約 10%)。

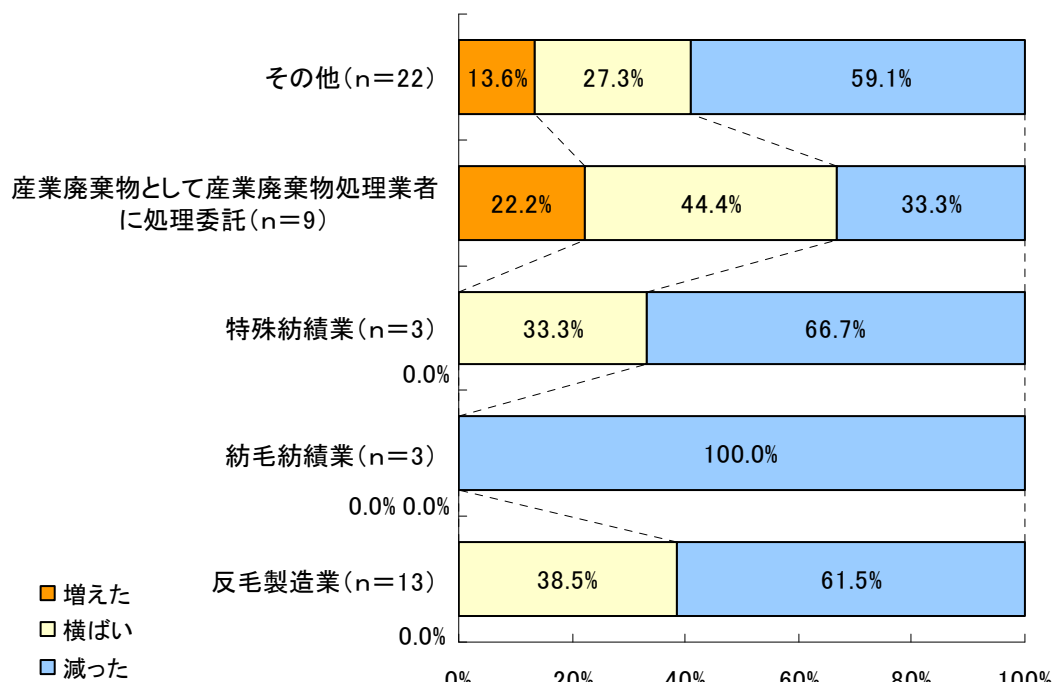
屑繊維 販売・処分先



② 2005 年度からのシェア増減傾向

参考値になるが、「増えた」と回答があるのは「産業廃棄物として産業廃棄物処理業者に処理委託」、ウエス製造業などの「その他」となっている。

屑繊維販売・処分先 シェア増減傾向



※n 数が 30s 未満は参考値とする

2-5 事業を行う上での課題、故繊維製品の回収・再利用に関する意見抜粋

意見は大きく、「原材料確保」、「不能品削減・処理」、「出口整備・拡大」と「その他」に分けられる。

1) 原材料確保

工場の海外移転等による海外流出のほか、家庭からのボロ回収減、原材料の価格上昇や品質低下が課題として寄せられている。

- ・ 近年、ボロ(選別しないままの状態)で海外へ輸出する量が多くなってきている様ですが、このような状態が増えてくると国内での選別業者がやっていけなくなるので困る。
- ・ 海外移転が多く、屑繊維も集荷量が減少している。屑繊維も燃やすのではなく、再利用できる方向にお願い致します。
- ・ 紡織工場の海外移転にともない、国内での不良反物、不要反物の減少に苦慮。家庭からの排出物は取り扱いなし。
- ・ ボロの丸投げ輸出が始まってきました。
- ・ 繊維関連の製造は生産が減少する一方で、ウエス加工等も衰退傾向にあります。
- ・ 家庭からの放出が少なくなった。単価の問題。安く成った為に家庭が出さなくなった。ゴミとして処分をする傾向が多くなり業者に廻らない。集めた物を直接海外へ出す者が増えた為。故繊維業界の将来は無いも同然です、止めて行く所が多い。大手以外は駄目です。
- ・ リサイクル産業の基本としてまず回収増を国として考えるべきだと思います。
- ・ ウエスの原料でリネン系の古着の相場が少しずつ高騰している(特にオシメとタオル地について)。
- ・ 故繊維の材質が再利用ウエスの製造に使う良質な物が少なくなっている。

2) 不能品削減・処理

分別の不徹底、また不能品の処理先・処理費用が課題として挙げられている。

- ・ 回収品の中でウエス製品として使えない物。例としてGパン、制服(学生、職場)・厚物(オーバー、ジャンパー)等を再利用に廻すことが出来ず、市の燃えるゴミとして1kg10円を出している状態です。
- ・ 回収故繊維に混じってクツやバック等、別の物が多く入っている。
- ・ ボロの回収時、細かな選別が各家庭より意識づけが出来ればよい。
- ・ 故繊維回収品の中に不良品(ゴミ等)が多く混じっているので処分するのに困っている。
- ・ 再利用不可能ボロの処理を市役所に依頼しているが料金が高く問題だ。
- ・ クズ布の処分先に困っている。
- ・ ウエス(家庭で使われなくなった衣類をファスナー、ボタン等はずし、厚地の衿等も外し雑巾等に使える位に裁断した物)として使われない物が1/10ほど燃えるゴミとして出しています。役所の焼却炉は生ゴミの水分が多い為、重油を多く使って焼却しています。重油の代わりにそのような衣類を使ってもらえれば助かります。
- ・ ウエスにならない物、産廃物を処理する費用が掛かりすぎる。

3) 出口整備・拡大

環境産業として位置づけることでの出口拡大、輸出による販売先拡大、リサイクルウエスの推進等が課題として挙げられた。

- ・ 出口の拡大。環境産業として位置づけて、行政による育成支援。
- ・ 故繊維類の輸出環境の整備。
- ・ 海外の国々が古着の輸入規制(輸入禁止)をしないで自由に貿易できる様に望みます。
- ・ 各企業に於いて、ボロウエスを購入されて、油を拭き取る。油を拭き取ったウエスをゴミとして処分している企業が多い。油で汚れたウエスをクリーニングして再利用が出来るので、各企業にこのシステムを活用するように進めて欲しい。そうすれば、ボロウエスの処分量は激減する。
- ・ 企業がリサイクルウエスを使用することを望みます。

4) その他

行政への税制、政策のほか、輸送費や販売価格低下への意見が寄せられた。

- ・ 税制面での優遇、助成。
- ・ 一般廃棄物という事で行政回収となっているが、収集、運搬と選別まで回収業者扱いにされていて、実際にはボロを選別するのは処理業者なのに、残さ処理量も回収業者の所で認められているのはおかしい。
- ・ 長年繊維のリサイクルの為に裁断屑を回収してきたにもかかわらず、国の政策等で許可や免許が必要となってきた昨今、これだけ不景気になったら、我々個人業者は何の優遇を受けられなく、高額でかつ、矛盾した事業許可が取れない事が腹立たしい。
- ・ 3Rの意味を分かっていない人が多い事。行政によって、積極的に古布回収等を前向きに考えてくれない事。
- ・ 行政として繊維のリサイクルをもっと生かしてゴミ減らしに貢献してほしい。
- ・ 再生品と買って下さる様、PRが必要と思います。国外のバジnkズで作った物が安いので。
- ・ 行政の理解不足。
- ・ 古着を扱いたいを選別者が1社しかなく量的に処理が出来ない。
- ・ 毛糸類、ポリエステルなど、県内でリサイクルが難しく、本土ではリサイクルが可能だと伺いました。本土から送るコストが高い為、県内で処理している。
- ・ 販売価格が年毎に安くなる一方で、経費は変わらないか、高くつく一方で採算が合わない。
- ・ 需要と供給のバランスが難しい。
- ・ 不況の為、製品等の売上が減少している。